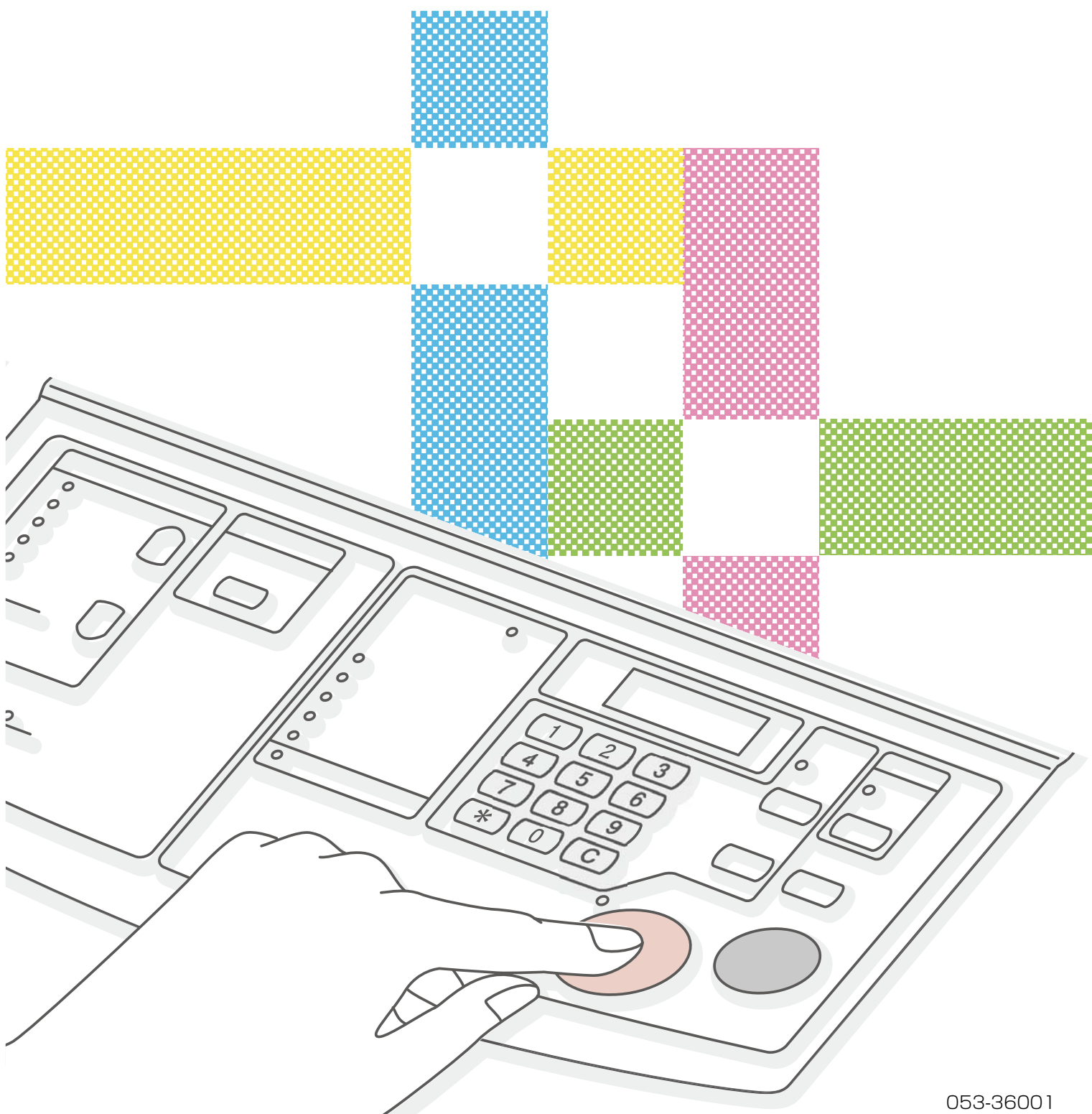


RISO

GOCCOPRO 100

取扱説明書



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。



安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。

ごあいさつ

このたびは本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本機は、簡単な操作でご使用いただけるスクリーンマスター製版機です。

本書は、本機の基本的な操作方法をはじめとして、使用上のご注意、各種消耗品の取り扱いや交換方法、トラブル発生時の対処方法を記載しています。

ご使用になる前によくお読みください。また、ご使用中不明な点があるときや、必要なときに本書をお読みいただき、本機とともに末永くお役立てください。

- **RISO** および **RISORINC** は理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。
- **Windows**, **Windows Vista** は米国 **Microsoft Corporation** の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の社名、商品名は各社の登録商標または商標です。
- 本文中に記載されている画面および内容は、実際の商品と若干異なることがあります。
- 手順の中で紹介している画面表示やメッセージは、パソコンの機種やアプリケーションにより異なります。(本書では **Windows7** の画面を使用しています。)

© Copyright 2020 理想科学工業株式会社

この冊子は、**ORPHIS** シリーズと **OR** くるみ製本フィニッシャーで作成した後、端面をカットしています。

〔使用用紙〕 表紙：IJ 用紙半光沢 172 A4 表紙用 本文：理想用紙 IJ マット (W)

本製品の特長

本機はスクリーンマスター専用の製版機です。製版したマスターは、お手持ちのフレームに取り付けて使用できます。

かんたん操作

- パソコンで作成した原稿データを、プリンタ感覚で製版できます。
- 感光乳剤の塗布や露光、現像などが一切不要のオート製版です。
- 製版済みマスターは、指定サイズで自動的にカットします。

便利な機能

- マスターの作成直前でも余白を設定できます。
- 最後に製版した原稿データを簡単に再製版できます。

600dpi×600dpi の高解像度穿孔

- パソコンで作成した原稿データをダイレクトに製版するので、細かい文字や細い線も高精細に再現できます。
- プリンタドライバでお好みの画質に調整可能です。

Macintosh にも対応

- オプションの「リソー GOCCOPRO プリンタドライバ Mac 用」と「RISO Network Card」を取り付ければ、Macintosh[®] と接続して使用できます。

省スペース設計

- デスクサイドに置けるコンパクトサイズです。

コラム

再製版機能

製版したデータは「再製版データ」として本機内に残ります。同じ原稿データを使ってマスターを製版し直したいときは、パソコンから原稿データを送信し直さなくても、本機の＜STORAGE＞キーを押すだけですぐに再製版できます。

ただし、新しい原稿データを受信すると、本機内に記憶されている製版データは消去されますので、常に最後に製版した原稿データだけが再製版できます。

繰り返し再製版を行いたいときは、本機が新しい原稿データを受信しないようにするために、＜ONLINE＞キーを押してオフラインにしておくことをおすすめします。

電源スイッチを OFF にしたときも、再製版データは消去されます。

文中の表記について

本書では本文中の表記を次のように行っています。

注意事項等の表記について

全ページを通して、注意事項などは次のようなマークで統一して表しています。

重要

気を付けていただきたいことや禁止事項などを記載しています。
よく読んで指示に従ってください。

参考

本機をご利用いただく上で、知っておくためになる情報や便利な情報を記載しています。

参照

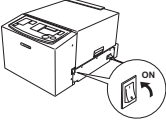
参照ページを示しています。

「 警告」および「 注意」については「警告表示について」8 ページをご覧ください。

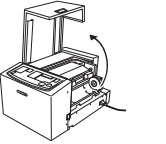
操作説明や機能説明の表記について

機能や操作説明は、次のような表記で行っています。

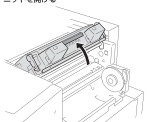
1 本機の電源スイッチを ON にする



2 製版ユニットカバーの取っ手を持ち、カバーを開ける



3 製版ユニット開放レバーを握りながら、製版ユニットを開ける



4 マスターロールスリッパを開ける

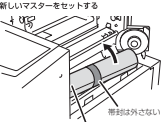


マスターを交換するときは、使用済みのマスターの芯を取り出します。

● 重要

マスターの芯は、各自治体の定める規制に従って廃棄してください。
※ 詳細は「印刷済みマスターと芯の廃棄」79 ページ

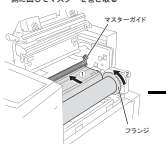
5 新しいマスターをセットする



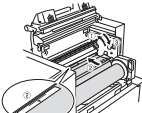
6 ① マスターロールスリッパを握る
② 冊封を外す



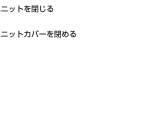
7 ① マスターの先端をマスターガイドの下に差し込み、止まるまで返る
② マスターがたわんでいるときは、フランジを奥側に倒してマスターを巻き取る



8 製版ユニットを開じる



9 製版ユニットカバーを閉める



1 初めて使用するときの準備

● 重要 冊封はまだ外さないでください

● 重要 マスターが押し込み込まないで
① マスターガイドの奥にあるダイヤルを奥側に倒して、マスターガイドを開きます。
② 矢印の先端までマスターを押し出します。
③ マスターガイドを閉じます。

章タイトル

操作手順

操作イラスト

本書で使用している用語について

原稿データ パソコンで作成した画像や文字のデータ
製版 パソコンから送信された原稿データを本機が読み取り、マスターに穿孔する工程
初期設定 本機の電源スイッチを ON にした直後の、各設定項目の初期値

| 3 |

目次

本製品の特長	2
• かんたん操作	2
• 便利な機能	2
• 600dpi×600dpi の高解像度穿孔	2
• Macintosh にも対応	2
• 省スペース設計	2
文中の表記について	3

はじめに

安全上のご注意	8
警告表示について	8
設置場所について	8
電源の接続について	8
アースの接続について	9
取り扱いについて	9
注意ラベルの位置について	10
ご使用の前に	11
設置に関する注意	11
• 設置場所に関する注意	11
• 使用環境に関する注意	11
• 専有面積	11
接続に関する注意	11
• 電源を接続するときの注意	11
• 電源コードおよび延長コードについて	12
• プリンタドライバについて	12
• パソコンとの接続に関する注意	12
使用時の注意	12
• 本機の取り扱いに関する注意	12
• マスターの保管について	12
• 定形サイズ以外の原稿データを製版するには	12
• 製版サイズ（製版エリア）について	13
• 製版に必要な余白量について	14
印刷に関する注意	15
• 法律で印刷を禁止されているもの	15
• 営利目的での印刷を禁止されているもの	15
各部の名称と機能	16
本体	16
操作パネル	18
製版から印刷までのながれ	20

1 初めて使用するときの準備

マスターをセットする	22
プリンタドライバをインストールする	24
USB 接続の場合	24
・ インストールの前に	24
・ インストール手順	25
・ USB ポートの作成	31
・ USB 機器の関連付け	32
ネットワーク接続 (LAN) の場合	33
・ インストールの前に	33

2 製版のしかた

①本機の準備をする	36
②パソコンから原稿データを送信する	37
プリンタドライバの設定内容	38
③フレームを選択する	42
フレームの選択と製版の開始	42

3 より使いやすくするための設定

ユーザーモードで設定できること	48
ユーザーモードの設定方法	51
フレームの登録方法	52
IP アドレスの設定方法	54
ユーザーモード / ネットワークカードを初期化する	56

4 お手入れ

使用できるクリーナー	60
お手入れのしかた	61
サーマルヘッドのクリーニング	61
本体外装部のクリーニング	62

5 こんなときには

エラー表示ランプが点灯したら	64
「故障かな？」と思ったら	67
本体での対処	67
プリンタドライバでの対処	68
思ったような製版結果が得られないとき	70

付録

原稿サイズの登録	74
プリンタドライバの手動インストール	75
Windows 10	75
• USB 接続の場合	75
• ネットワーク接続 (LAN) の場合	76
Windows 8.1/Windows 8	77
• USB 接続の場合	77
• ネットワーク接続 (LAN) の場合	78
Windows 7	79
• USB 接続の場合	79
• ネットワーク接続 (LAN) の場合	80
Windows XP	81
• USB 接続の場合	81
• ネットワーク接続 (LAN) の場合	82
Windows Vista	83
• USB 接続の場合	83
• ネットワーク接続 (LAN) の場合	84
プリンタドライバのアンインストール	85
アンインストーラを使用する場合	85
手動でアンインストールする場合	86
• Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7	86
• Windows XP	86
• Windows Vista	87
消耗品とオプション	88
マスター	88
オプション	88
製版済みマスターと芯の廃棄	89
仕様	90
索引	92
アフターサービスについて	95

はじめに

本機を使用する前に知っておいていただきたいことや、気を付けていただきたいことを記載しています。

安全上のご注意

本機を設置する場所や電源に関する注意など、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

警告表示について

本機を正しくお使いいただき人体への危害や財産への損害を未然に防止するため、次のような警告表示を使用しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

設置場所について

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

電源の接続について

警告

- 本機の定格電圧値でご使用ください。また、定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。
定格電圧値および定格電流値は、本書巻末の仕様「電源」の項をご確認ください。
- 電源コードは本機専用です。他の電気製品では使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 分岐コンセントのご使用、タコ足配線はおやめください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。



- ご使用の電圧により、使用できる電源コードおよび延長コードの規格が異なります。誤って使用すると、火災、感電のおそれがあります。
 - ・ 電源コードは 4.5m 以内、延長コードは 5m 以内のものをご使用ください。
 - ・ 電圧切替スイッチを 100-120V 側で使用する場合は、125V/8A 以上の規格のケーブルを使用し、5m 以上延長しないようにしてください。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください（必ずプラグを持って抜いてください）。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 連休などで長期間、本機をご使用にならない場合は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

アースの接続について

⚠ 警告

- アース線付電源プラグまたは 3 ピン電源プラグ（2 極アース付電源プラグ）で構成された電源コードを使用し、必ずアース接続してください。アース線付電源プラグでアース接続する場合は、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



- アース接続しないで万一、漏電した場合は、火災や感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、販売会社にご相談ください。
- 次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 - ・ ガス管
 - ・ 電話専用アース線
 - ・ 避雷針
 - ・ 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口
- アース線は次の場所に取り付けてください。
 - ・ 電源コンセントのアース端子
 - ・ 銅片などを、75cm 以上地中に埋めたもの
 - ・ 接地工事（A 種～D 種）が行われている接地端子
 - ・ 水道局がアースの対象物として承認した水道管

取り扱いについて

⚠ 警告

- 本機の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本機の近くで、可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。スプレーのガスや引火性溶剤が機械内部の電子部品などに接触すると、火災や感電のおそれがあります。
- 本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部位があり、感電のおそれがあります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。



- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社にご連絡ください。



- 万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

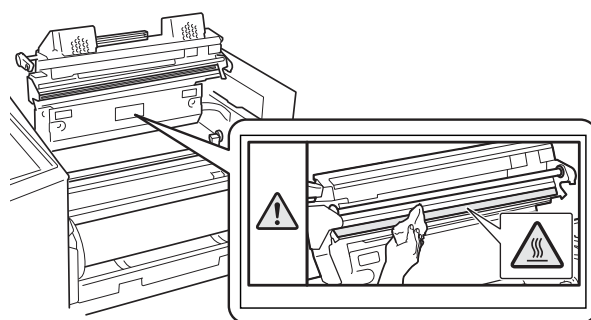


⚠ 注意

- マスター出口付近のすきまには、絶対に指などを差し込まないでください。けがの原因となることがあります。
- 本機を持ち上げたり、動かす場合は、必ず本体下部を持ち上げてください。
本体上部を持つと落下してけがの原因となることがあります。
- サーマルヘッドには、指で直接触れないでください。
高温になっている場合、やけどをするおそれがあります。

注意ラベルの位置について

本機には、安全にお使いいただくために注意ラベルを貼っています。表示にしたがって安全にお使いください。



ご使用の前に

設置に関する注意

設置場所に関する注意

- 本機の設置場所につきましては、納入時にお客様とご相談のうえ決定させていただきます。
- 本機は設置場所を固定することになっています。本機を移動するときは、販売会社に連絡してください。
- 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障、事故の原因となる場合があります。
 - ・ 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所（やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください）
 - ・ 温度が急激に変化する場所
 - ・ 高温多湿、低温少湿の場所
 - ・ 火気・熱気のある場所、クーラー等の冷風、ストーブ等の温風、ふく射熱などが直接あたる場所
 - ・ 通気性、換気性の悪い場所
 - ・ ちりやホコリ等が多い場所



使用環境に関する注意

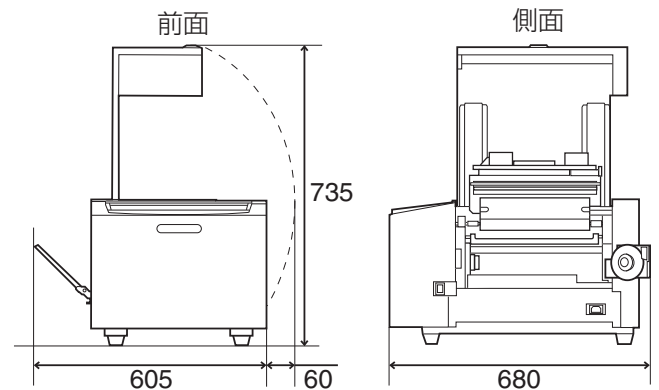
- 本機が水平に設置できる場所を選んでください。（設置の水平度：前後 10mm 以下、左右 10mm 以下）
- 適正環境は次のとおりです。
 - ・ 温度範囲：15℃～30℃
 - ・ 湿度範囲：40%～70%（結露しないこと）



専有面積

マスタートレイを開いたり消耗品を交換したりするために、下記のスペースが必要です。

単位：mm



接続に関する注意

電源を接続するときの注意

- 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してください。
- 本機はコンセントの近くに設置してください。
- 本機には、電源が ON の状態で一定時間使用されないときに、自動的に本機の電源を OFF にする「オートシャットオフ」機能が搭載されています。
 ▶参照「より使いやすくするための設定」47 ページ
- 電源コネクタ（AC インレット）左側の電圧切替スイッチには触らないでください。誤って電圧を切り替えると、故障の原因になります。



電源コードおよび延長コードについて

電圧切替スイッチを 100-120V 側で使用する場合は、125V/8A 以上の規格のケーブルを使用してください。

プリンタドライバについて

パソコンから原稿データを送信して製版するためのプリンタドライバです。

プリンタドライバは同梱の CD-ROM に収録されています。初めて製版するときはインストールが必要です。

本プリンタドライバは以下の OS に対応しています。

- ・ Windows® 10(32-bit/64-bit)*
- ・ Windows® 8.1(32-bit/64-bit)*
- ・ Windows® 8(32-bit/64-bit)*
- ・ Windows® 7(32-bit/64-bit)
- ・ Windows® XP(32-bit)
- ・ Windows Vista®(32-bit/64-bit)

* デスクトップアプリのみ対応

パソコンとの接続に関する注意

- 使用前に、同梱の CD-ROM から必ずプリンタドライバをインストールしてください。

❗ 重要 プリンタドライバをインストールする前に、本機とパソコンを接続しないでください。

- 本機は市販の USB ケーブル（3m 以内、Hi-Speed USB 規格準拠品）でパソコンと接続します。詳しくは「USB 接続の場合」24 ページを参照してください。

参考 オプションのネットワークインターフェース「RISO Network Card」を取り付ければ、Macintosh と接続して使用できます。詳しくは RISO Network Card の取扱説明書を参照してください。

使用時の注意

本機の取り扱いに関する注意

- 動作中に電源スイッチを OFF にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。
- 動作中に製版ユニットカバーを開けたり、本機を移動させたりしないでください。
- 製版ユニットカバーやマスタートレイは静かに開閉してください。
- 本機の上に重いものを載せたり、本機に衝撃を与えたりしないでください。
- 本機の内部には精密部品および駆動機構部がありますので、取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。
- 日本国外へ移動した場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

マスターの保管について

- マスターは正しく保管してください。次のような場所での保管は、おやめください。
 - ・ 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所（やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください）
 - ・ 温度が急激に変化する場所
 - ・ 高温多湿、低温少湿の場所



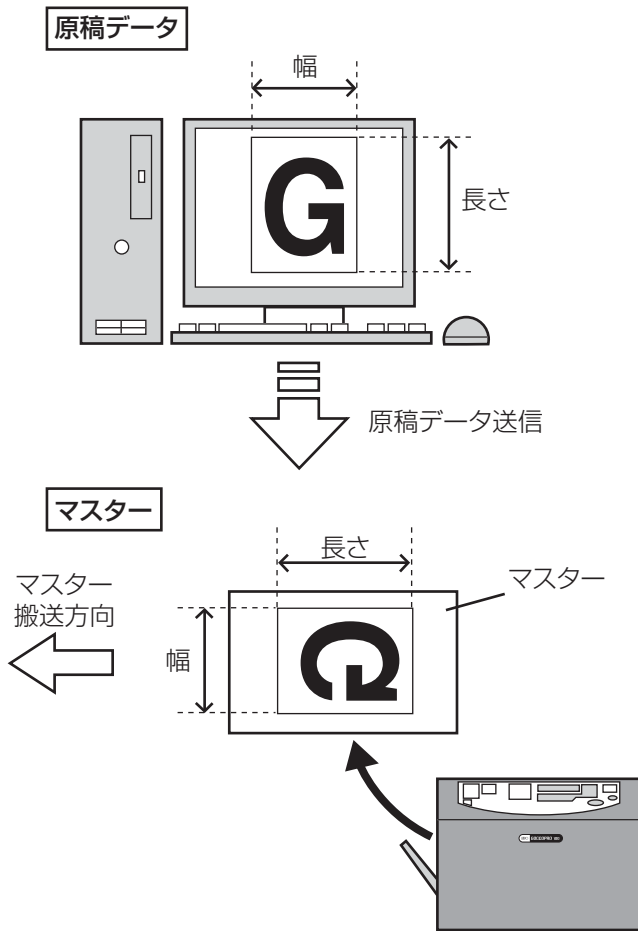
定形サイズ以外の原稿データを製版するには

定形サイズ以外の原稿サイズを使用する場合は、原稿データを作成するアプリケーションで設定した原稿サイズと同じサイズを、あらかじめ本機専用のプリンタドライバに登録してください。

▶参照「原稿サイズの登録」74 ページ

製版サイズ（製版エリア）について

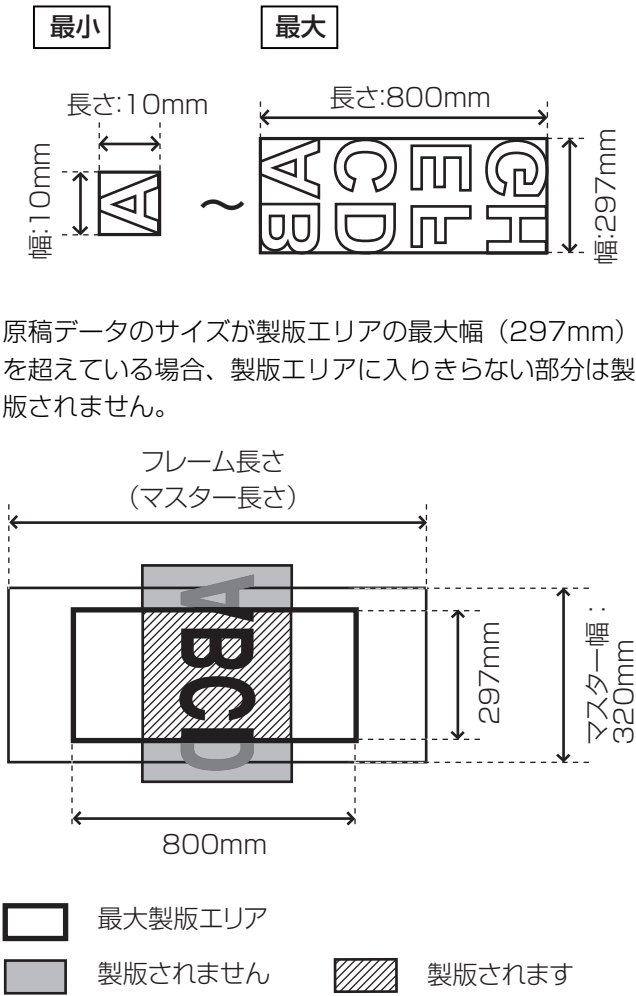
パソコンで作成する原稿データの向きと、マスターに製版される原稿データの向きの関係は、次の図のようになっています。



❶重要 製版には、使用するフレームと同じ長さのマスターが使用されます。原稿データは作成時のサイズにかかわらず、使用するフレーム（マスター）の中央に配置して製版します。

製版可能なサイズ（製版エリア）は次のとおりです。

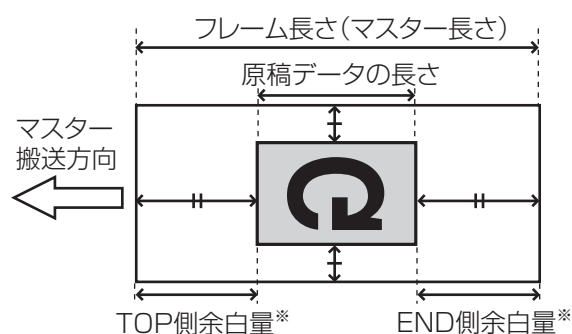
- ・ 最小サイズ：10mm（幅）×10mm（長さ）
- ・ 最大サイズ：297mm（幅）×800mm（長さ）



製版に必要な余白量について

製版時、原稿データは使用するフレーム（マスター）の中央に配置されるので、原稿データの TOP 側と END 側に余白ができます。余白は、マスターにフレームを取り付けたり、インクを載せるためのスペースとして、TOP 側と END 側の両方に必要です。

余白量は、使用するフレームの種類と原稿データのサイズから自動的に算出されます。



※ TOP と END の余白量は任意に設定することができます。

フレーム種類ごとに必要な余白量は、次の表のとおりです。

使用するフレーム種類は操作パネルの <FRAME SELECT> キーで選択できます。

製版時に余白量が不足していると、「LENGTH」エラーとなり、製版できません。

▶参照「エラー表示ランプが点灯したら」64 ページ

フレーム種類	TOP 側余白量	END 側余白量	余白量の設定方法
フレーム 1 ～ 5	60mm 以上	60mm 以上	余白量は、フレーム長さと原稿サイズから自動で算出されます。任意で設定することはできません。フレーム長さはユーザーモードで設定します。 ▶参照「フレームの登録方法」52 ページ
MINIMUM (最小余白)	60mm 固定	15mm ～ 30mm	END 側の余白を狭くします。余白はユーザーモードで設定します。 ▶参照「フレームの登録方法」52 ページ
MANUAL (任意余白)	60mm ～ 200mm	15mm ～ 200mm	<MANUAL> キーで原稿データの TOP 側または END 側を選択し、テンキーで任意の余白量を入力します。

コラム

横長の原稿を製版する場合

原稿データのサイズに注意してください。製版エリアに収まりきらない部分は製版されません。

原稿の左右端が製版エリアに入りきらない場合は、次の対策を行ってください。

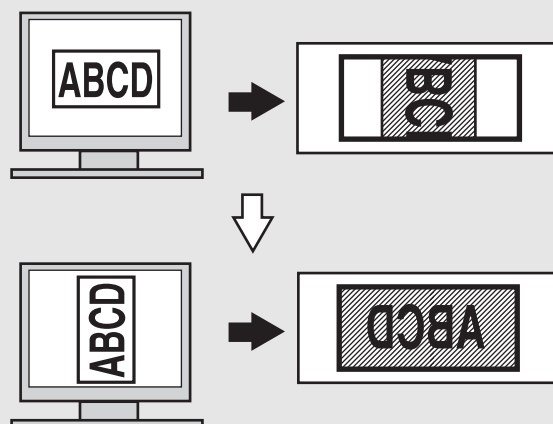
- ・あらかじめプリンタドライバの「原稿サイズ登録」を行い、原稿の長さとし幅を入れ替えた原稿サイズを登録しておく。

▶参照「原稿サイズの登録」74 ページ

- ・アプリケーションソフトウェアの機能で原稿を 90° 回転させてから製版する。

アプリケーションの設定

製版されるマスター



印刷に関する注意

個人が利用する場合でも、自由に何でも複写してよいというわけではありません。

特に、単にその印刷物を所有しているだけでも、法律的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分ご注意ください。

法律で印刷を禁止されているもの

次の文書は、法律で印刷を禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券（たとえ「見本」の印があっても複写することは禁じられています）
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用郵便切手、郵便はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
- 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類

参考

関係法律

- ・ 通貨及び証券模造取締法
- ・ 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- ・ 郵便切手類模造等取締法
- ・ 印紙等模造取締法
- ・ 紙幣類似証券取締法

営利目的での印刷を禁止されているもの

次のような複写は、おやめください。

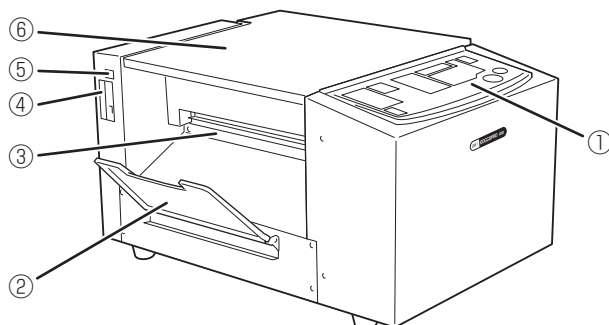
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などの、事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複写
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類の複写
- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複写（個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複写することを禁じられています。）

各部の名称と機能

本機各部の名称とそのはたらきを説明しています。

本体

マスター出口側



① 操作パネル

製版の開始や、本機の設定変更などの操作を行います。

▶参照「操作パネル」18 ページ

② マスタートレイ

製版されたマスターを受け止めます。

収納時はマスター出口側に倒します。

③ マスター出口

マスターが出てきます。製版が終わると、マスターが指定サイズにカットされます。

④ Ethernet コネクタ

オプションの「RISO Network Card」を増設する場合に使用します。

⑤ USB コネクタ

市販の USB ケーブルを使ってパソコンを接続します。

▶参照「USB 接続の場合」24 ページ

⑥ 製版ユニットカバー

マスターを交換するときや、本機内部のお手入れをするときに開きます。

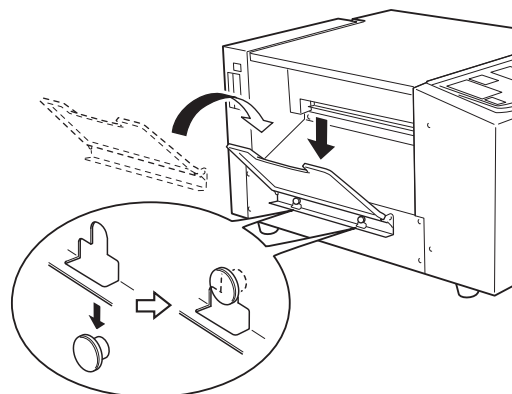
▶参照「マスターをセットする」22 ページ

マスタートレイの取り付け / 取り外し

マスタートレイは取り外しできます。

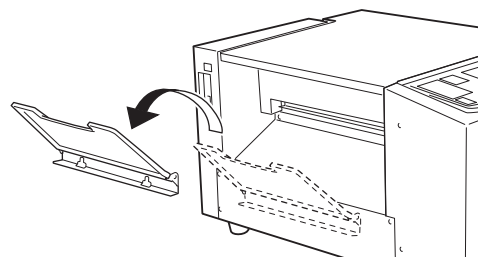
● 取り付け方

マスタートレイの金具の穴（2箇所）を、マスター出口にある突起（2箇所）に引っかけます。

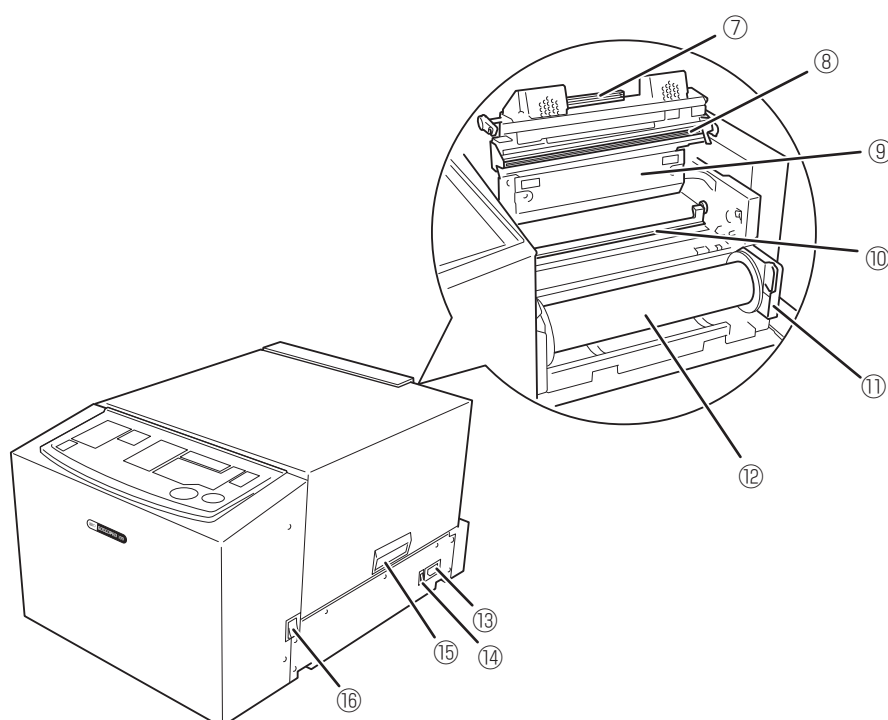


● 取り外し方

マスタートレイを持ち上げて取り外します。



電源スイッチ側



⑦ 製版ユニット開放レバー

マスター交換時など製版ユニットを開けるときに、ここを握ってロックを外します。

⑧ サーマルヘッド

原稿データに従ってマスターに穿孔します。

⑨ 製版ユニット

⑩ マスターガイド

⑪ マスターロールストッパー

マスターを固定します。

⑫ マスター

⑬ 電源コネクタ

⑭ 電圧切替スイッチ

ご使用の環境に応じて、入力電圧を 100V-120V または 220V-240V に切り替えることができます。切り替える場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

⑮ 取っ手

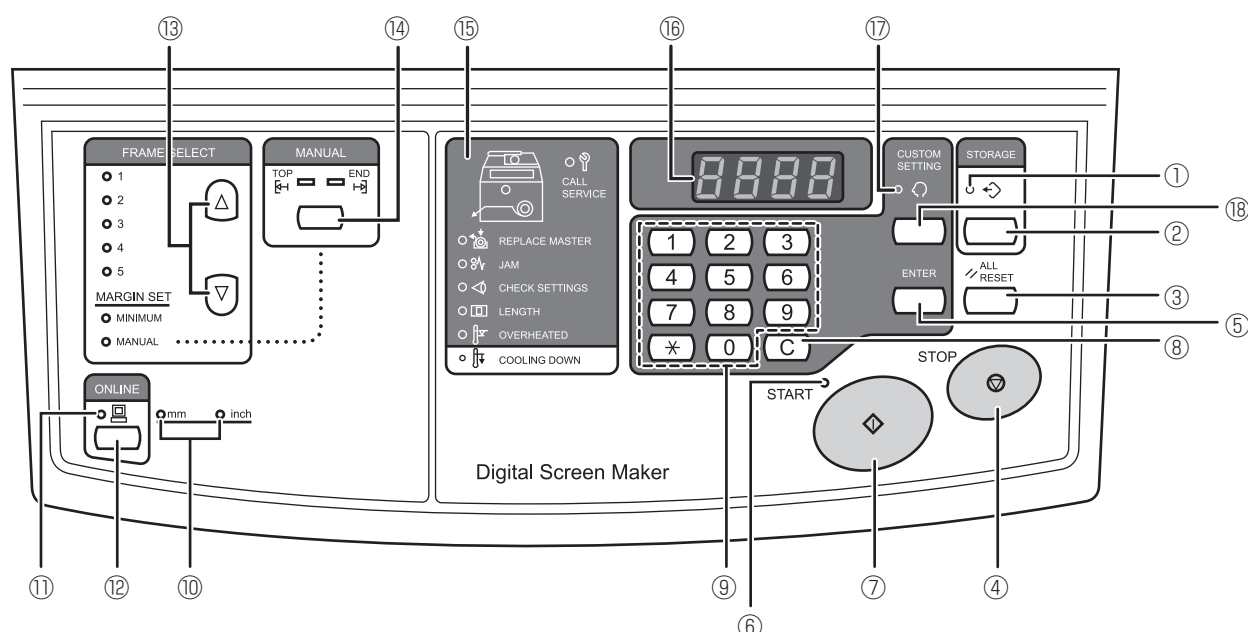
製版ユニットカバーを開閉するときに、ここを持ちます。

⑯ 電源スイッチ

操作パネル

操作パネルでは、マスターの製版を開始したり、フレームサイズや余白の設定を変更したりできます。

また、ランプの点灯や点滅によって本機の状態が分かります。



① <STORAGE> ランプ（再製版ランプ）

本機内に製版した原稿データ（再製版データ）が残っているときにランプが点灯します。

② <STORAGE> キー（再製版キー）

<STORAGE> ランプが点灯しているときに押すと、再製版されます。

▶参照「再製版機能」2 ページ

③ <ALL RESET> キー（オールリセットキー）

操作パネルで設定した内容を初期設定値に戻すときや、トラブル処理後にトラブル解除するときなどに使用します。

④ <STOP> キー（ストップキー）

実行中の動作を停止します。

製版中に長押し（1 秒以上）すると、製版を中止します。

⑤ <ENTER> キー（確定キー）

ユーザーモード設定時や、余白量の確定時に使用します。

▶参照「ユーザーモードで設定できること」48 ページ

⑥ <START> ランプ（スタートランプ）

受信した原稿データが製版を開始できる状態になると点灯します。

⑦ <START> キー（スタートキー）

製版を開始します。

⑧ <C> キー（クリアキー）

ディスプレイに表示されている数値を消去します。

⑨ テンキー

数値を入力します。

⑩ <mm/inch> 表示ランプ

現在選択されている単位を表示しています。単位はユーザーモードで切り替えられます。

▶参照「ユーザーモードで設定できること」48 ページ

⑪ <ONLINE> ランプ (オンラインランプ)

パソコンとの接続状態を表します。

点灯：パソコンから原稿データを受信可能 (オンライン)

消灯：原稿データを受信しない (オフライン)

点滅：原稿データを受信中

⑫ <ONLINE> キー (オンラインキー)

オンラインとオフラインを切り替えます。

❗ 重要 原稿データの受信中 (<ONLINE> ランプ点滅) や、製版待ちの原稿データがあるとき (<START> ランプ点灯) にオフラインにすると、これらの原稿データは削除されます。

⑬ <FRAME SELECT> キー (フレーム選択キー)

登録されているフレーム 1 ~ 5、MINIMUM、MANUAL から、製版に使用するフレームを選択します。▲ / ▼を押すごとにフレームが切り替わり、選択されているフレームのランプが点灯します。フレームのサイズはあらかじめ登録しておく必要があります。

▶参照「フレームの登録方法」52 ページ

⑭ <MANUAL> キー (任意余白設定キー)

<FRAME SELECT> で <MANUAL> を選択しているときに、任意の余白量を設定できます。キーを押すごとに余白量を設定する側 (TOP 側 / END 側) が切り替わります。余白量はテンキーで入力します。

⑮ エラー表示

エラーの発生している場所や、エラーの種類をランプが点灯してお知らせします。

▶参照「エラー表示ランプが点灯したら」64 ページ

⑯ ディスプレイ

各種設定で入力した数値や、フレームの長さなどの情報が表示されます。エラー発生時はエラー番号が表示されます。

⑰ <CUSTOM SETTING> ランプ (ユーザーモードランプ)

初期設定を変更する「ユーザーモード」のときに点灯します。

⑱ <CUSTOM SETTING> キー (ユーザーモードキー)

ユーザーモードにすると、ユーザーモードを終了するときに押します。

▶参照「ユーザーモードの設定方法」51 ページ

コラム

オフラインの使い方

<ONLINE> キーを押すと、オンライン (パソコンから原稿データを受信可能な状態) からオフライン (パソコンから原稿データを受信しない状態) に切り替えることができます。

次のような場合にオフラインにしてください。

- ・ 間違ってパソコンから送信した原稿データを削除したいとき
- ・ 「再製版データ」を使用して繰り返し製版を行いたいとき
(新しい原稿データを受信できないようにします。)

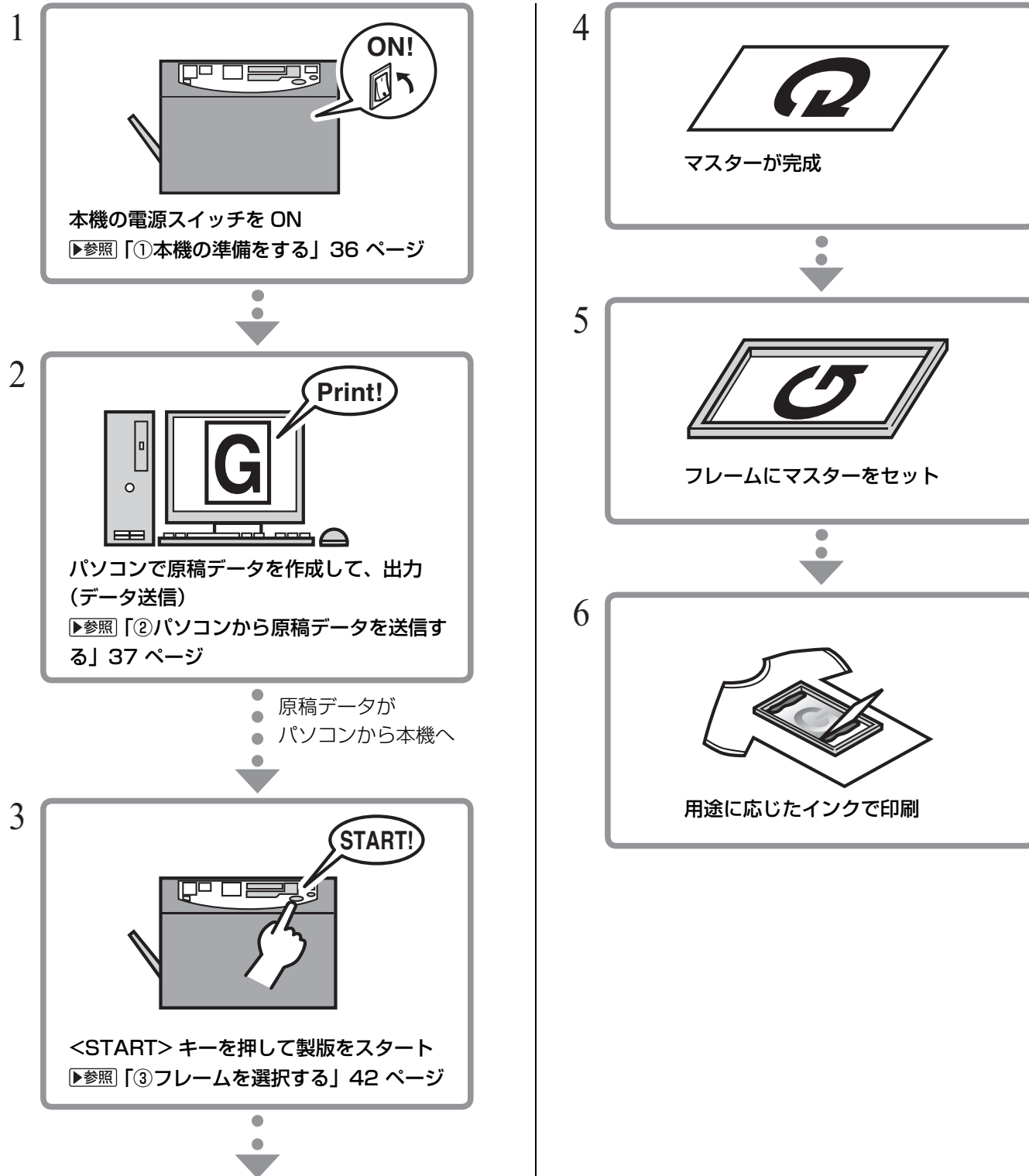
再製版データを使用して繰り返し製版を行いたいときは、次の手順で操作してください。

- ① オンラインの状態で製版する
- ② <STORAGE> ランプが点灯していることを確認する
①で製版した原稿データが再製版データとして保管されています。
製版中に [オート製版] を [ON] に設定した原稿データを受信した場合は、再製版データが保管されていないことがあります。
- ③ オフラインにする
次にオンラインにするまで、新しい原稿データを受信しなくなります。
- ④ <STORAGE> キーを押す
再製版データが製版されます。

製版から印刷までのながれ

パソコンで作成した原稿データを本機で製版し、印刷するまでのながれは次のとおりです。

本書ではステップ 4 までを説明しています。



1

初めて使用する時の準備

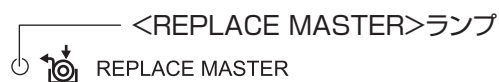
本機を設置後、初めて使用するときは、次の作業が必要です。

- ・ マスターをセットする [▶参照](#) 22 ページ
- ・ プリンタドライバをインストールする [▶参照](#) 24 ページ

マスターをセットする

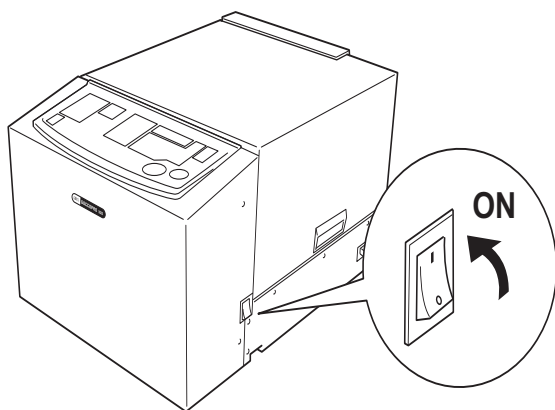
本機に新しいマスターをセットします。

操作パネルの<REPLACE MASTER>ランプ（マスター交換ランプ）が点灯しているときも、この手順でマスターを交換してください。

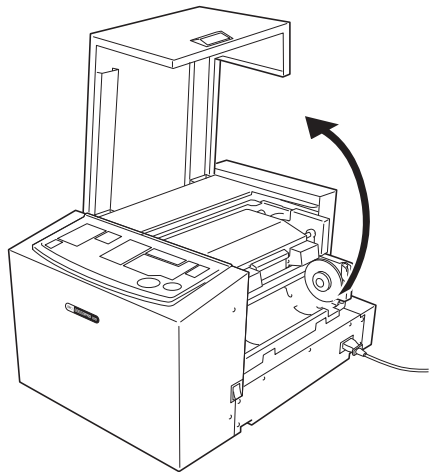


- ❶ 重要 ・ 当社推奨のマスターをご使用ください。
・ マスターの交換は、本機の電源を ON にして行ってください。

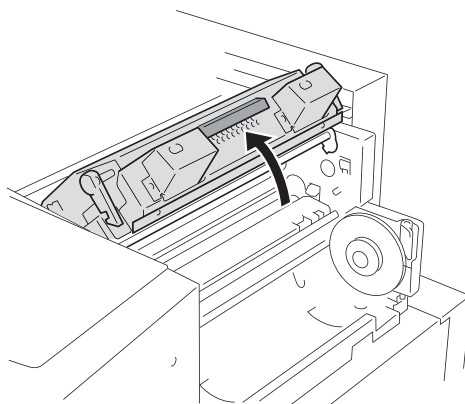
1 本機の電源スイッチを ON にする



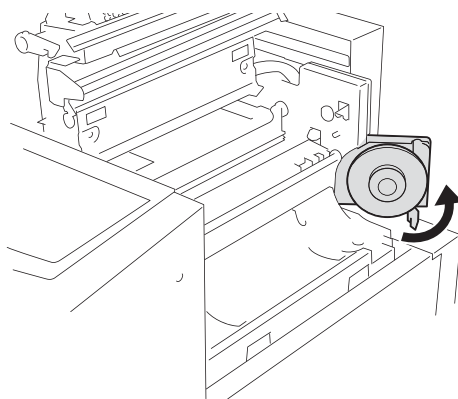
2 製版ユニットカバーの取手を持ち、カバーを開ける



3 製版ユニット開放レバーを握りながら、製版ユニットを開ける



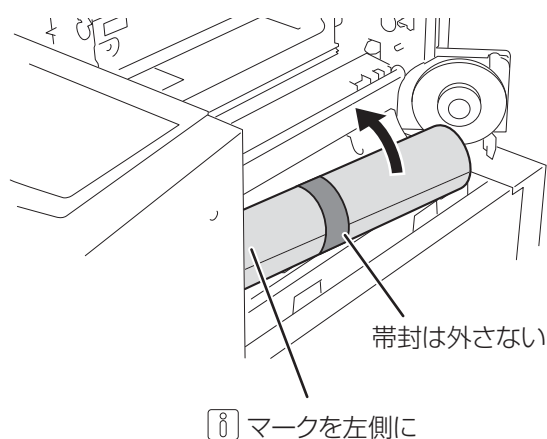
4 マスターロールストッパーを開ける



マスターを交換するときは、使用済みのマスターの芯を取り出します。

- ❶ 重要 マスターの芯は、各自治体の定める規則に従って廃棄してください。
▶参照 「製版済みマスターと芯の廃棄」 89 ページ

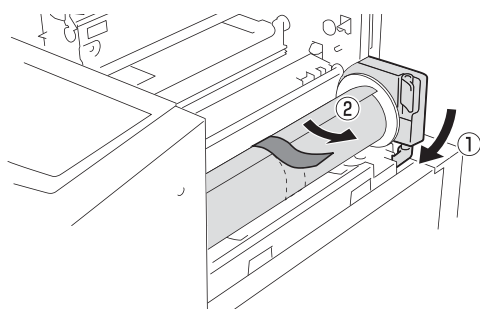
5 新しいマスターをセットする



❶重要 帯封はまだ外さないでください。

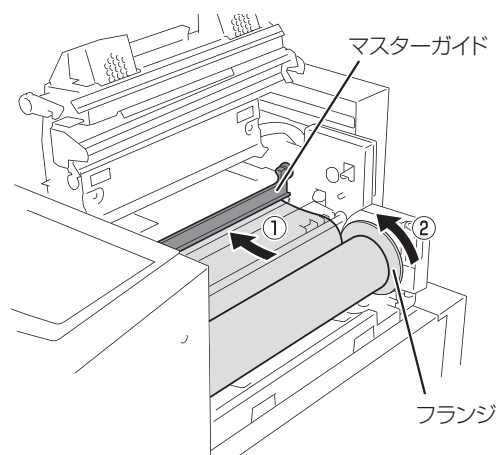
6 ① マスターロールストッパーを閉じる

② 帯封を外す



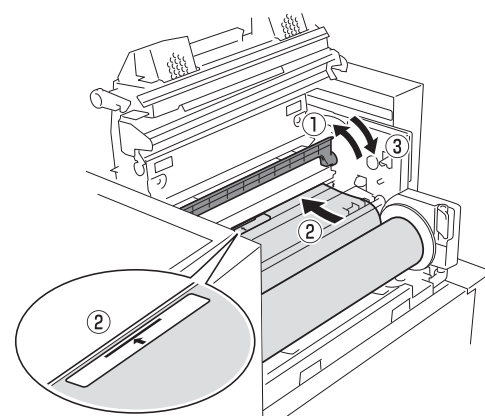
7 ① マスターの先端をマスターガイドの下に差し込み、止まるまで送る

② マスターがたるんでいるときは、フランジを奥側に回してマスターを巻き取る



参考 マスターが差し込めないとき

- ① マスターガイドの端にあるダイヤルを奥側に回して、マスターガイドを開きます。
- ② 矢印の先端までマスターを引き出します。
- ③ マスターガイドを閉じます。



8 製版ユニットを閉じる

9 製版ユニットカバーを閉める

プリンタドライバをインストールする

本機とパソコンの接続方法によってインストール手順が異なります。接続方法に合ったインストール手順を参照してください。

- ・ USB 接続の場合
▶参照「USB 接続の場合」24 ページ
- ・ ネットワーク接続の場合
▶参照「ネットワーク接続 (LAN) の場合」33 ページ

USB 接続の場合

本機とパソコンを USB ケーブルで接続する場合の手順です。

インストールの前に

- 市販の USB ケーブル (3m 以内、Hi-Speed USB 規格準拠品) を用意してください。
- 本機にマスターをセットしておいてください。
▶参照「マスターをセットする」22 ページ

- ❗重要
- ・ システム設定を変更する権限を持ったアカウント (Administrator など) で Windows にログインしてください。
 - ・ サーバ OS、プリンタ共有には対応していません。

▶参考 手動でプリンタドライバをインストールする場合は、「プリンタドライバの手動インストール」75 ページを参照してください。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合
バージョンアップや、ケーブルの接続方法を変更した場合など、同じ機種 (シリーズ) のプリンタドライバを再度インストールする場合は、ドライバパッケージを削除する必要があります。インストール済みのプリンタドライバを手動でアンインストールしてからインストールを実施してください。
▶参照「手動でアンインストールする場合」86 ページ

インストール手順

- ❶ 重要
- ・ USB ケーブルはまだ本機やパソコンに接続しないでください。
 - ・ Windows 7 (64-bit)/Windows Vista (64-bit) の場合は、あらかじめ「USB ポートの作成」を行ってください。
- ▶参照「USB ポートの作成」31 ページ

1 パソコンの電源スイッチを ON にする

2 本機付属の CD-ROM「RISO GOCCOPRO Printer Driver」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

自動的にインストーラが起動します。

インストーラが起動しない場合は、下記フォルダ内の「Setup (.exe)」ファイルをダブルクリックしてください。

Windows 32-bit の場合

(CD-ROM) — [Windows 32-bit] フォルダ

Windows 64-bit の場合

(CD-ROM) — [Windows 64-bit] フォルダ

【参考】 [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は、[はい] または [許可] (Windows Vista の場合) をクリックしてください。

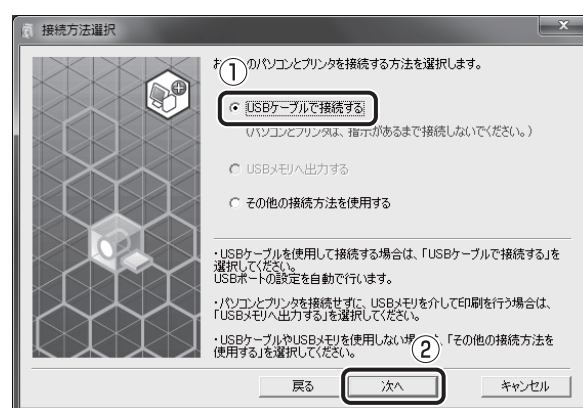
3 ① プルダウンメニューから [日本語] を選択する ② [OK] をクリックする



4 [インストールの前に] 画面が表示されたら、[次へ] をクリックする

Windows 7 (64-bit) /Windows Vista (64-bit) の場合
手順 18 へ進んでください。

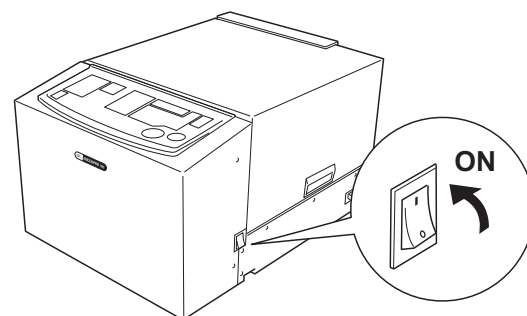
5 ① [USB ケーブルで接続する] をクリックする ② [次へ] をクリックする



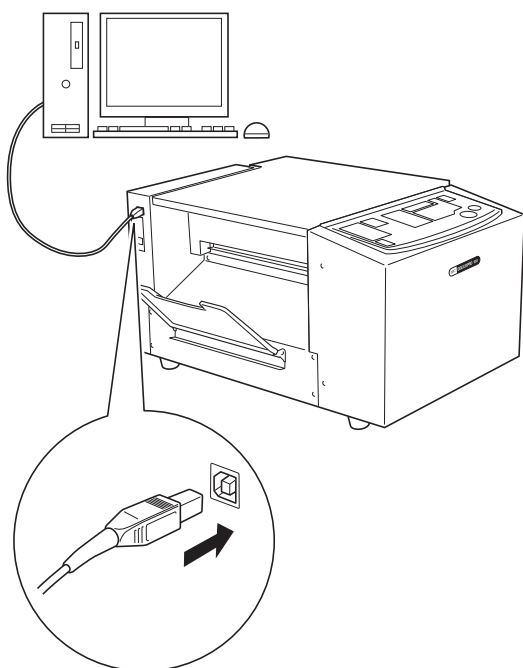
Windows 10/Windows 8.1/Windows 8 の場合
手順 23 へ進んでください。

[USB ポートの設定] 画面が表示されます。

6 本機の電源スイッチを ON にする



7 本機とパソコンを USB ケーブルで接続する



8 【プリンタの自動認識とUSBポートの設定が終了しました】ダイアログボックスが表示されたら、【OK】をクリックする

- 9 ①【RISO GOCCOPRO Series】が選択されていることを確認する
②【次へ】をクリックする



【参考】 Windows XP で【インストール方法】画面が表示された場合は、【次へ】をクリックしてください。

10 【プリンタ名入力】画面が表示されたら、【次へ】をクリックする

プリンタ名を変更するときは、【プリンタ名】欄に入力してください。

11 【インストールの確認】画面が表示されたら、【インストール】をクリックする

インストールが始まります。

【参考】 次の画面が表示された場合もインストールを続行してください。

- ・ Windows 7/Windows Vista の場合：
【Windows セキュリティ】と表示した画面
- ・ Windows XP の場合：
【Windows ログ認証テスト】と表示した画面

12 「テストページを印刷しますか？」というメッセージが表示されたら、【はい】をクリックする

13 本機の <START> ランプが点灯していることを確認し、<START> キーを押す

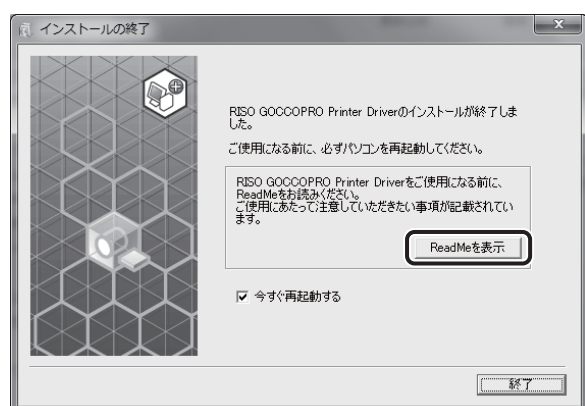
テストパターンが、フレーム 1（フレーム長さ：590mm）を使用して製版されます。

【参考】 使用するフレームは変更できます。
マスターの使用量を節約するために、
「MINIMUM」でのご使用をおすすめします。
▶参照「③フレームを選択する」42 ページ

14 テストパターンが正しく製版されたことを確認し、【OK】をクリックする

正しく製版されないときは、「故障かな？」と思ったら」67 ページを参照してください。

15 [ReadMe を表示] をクリックする



使用時の注意事項などが記載された ReadMe が表示されます。必ず読んでください。

16 [終了] をクリックする

パソコンが再起動します。

- 参考**
- ・ [今すぐ再起動する] のチェックを外して終了した場合は、パソコンの再起動後に本機が使用できるようになります。
 - ・ [新しいハードウェアの検出] 画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

17 パソコンが再起動したら、CD-ROM ドライブから CD-ROM 「RISO GOCCOPRO Printer Driver」を取り出す

これで本機が使用できるようになりました。

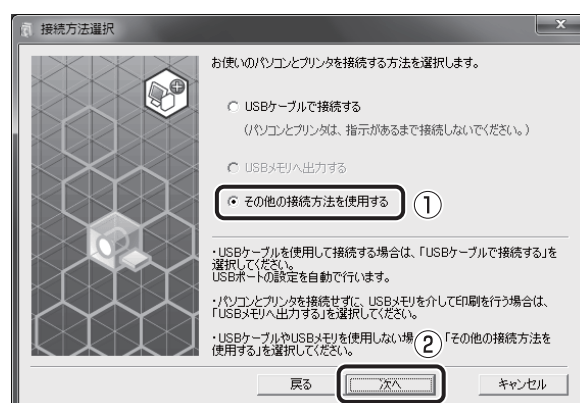
以上でプリンタドライバのインストールは完了です。

- ❗ 重要**
- ・ 付属 CD-ROM 「RISO GOCCOPRO Printer Driver」 は大切に保管してください。
 - ・ Windows 7 (64-bit)/Windows Vista (64-bit) の場合は、引き続き「USB 機器の関連付け」32 ページを行ってください。

手順 18 ～ 22 は、Windows 7(64-bit)/ Windows Vista(64-bit) の場合のみの手順です。

18 ① [その他の接続方法を使用する] をクリックする

② [次へ] をクリックする



19 [カスタムインストール] をクリックする



- 20 ① [既存のポート] をクリックする
② [USB***] をクリックして反転表示にする
③ [OK] をクリックする



参考 「USB***」は「USB ポートの作成」で確認（表示）されるポート名です。

- 21 ① [RISO GOCCOPRO Series] が選択されていることを確認する
② [次へ] をクリックする



参考 選択したドライバがすでにインストールされている場合には、[インストール方法] 画面が表示されるので、[次へ] をクリックしてください。

- 22 [プリンタ名入力] 画面が表示されたら、[次へ] をクリックする

手順 11 (26 ページ) へもどる

以降は、Windows 10/Windows 8.1/Windows 8 の場合のみの手順です。

- 23 ① [RISO GOCCOPRO Series] が選択されていることを確認する
② [次へ] をクリックする

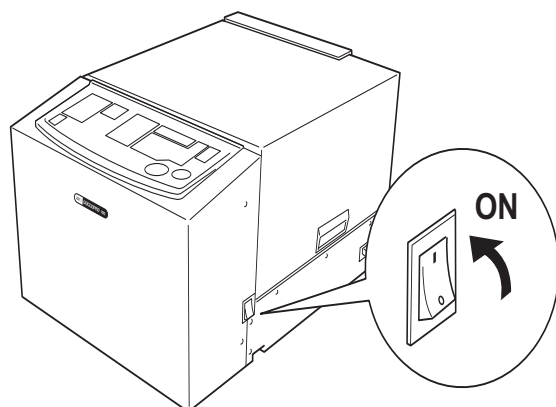


- 24 [インストールの確認] 画面が表示されたら、[インストール] をクリックする
インストールが始まります。

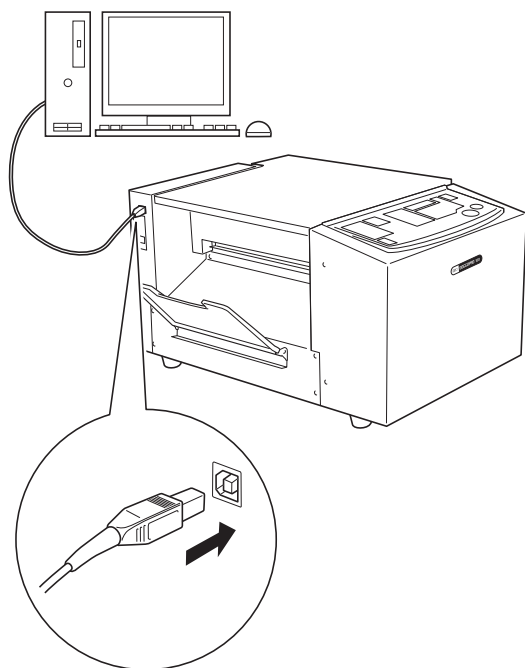
参考 [Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合もインストールを続行してください。

- 25 [USB ポートの設定] 画面が表示されたら、[OK] をクリックする

26 本機の電源スイッチを ON にする



27 本機とパソコンを USB ケーブルで接続する



28 [ReadMe を表示] をクリックする



使用時の注意事項などが記載された ReadMe が表示されます。必ず読んでください。

29 [終了] をクリックする

パソコンが再起動します。

- 参考**
- ・ [今すぐ再起動する] のチェックを外して終了した場合は、パソコンの再起動後に本機が使用できるようになります。
 - ・ [新しいハードウェアの検出] 画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

30 プリンタフォルダを開く

「アプリ」画面を開き、[コントロールパネル] – [ハードウェアとサウンド] – [デバイスとプリンター] をクリックします。

31 インストールしたプリンタのプロパティを開く

インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [プリンターのプロパティ] を選択してください。

32 「テストページを印刷しますか？」というメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする

33 本機の <START> ランプが点灯していることを確認し、<START> キーを押す

テストパターンが、フレーム 1（フレーム長さ：590mm）を使用して製版されます。

参考 使用するフレームは変更できます。
マスターの使用量を節約するために、
「MINIMUM」でのご使用をおすすめします。
▶参照 「③フレームを選択する」 42 ページ

34 テストパターンが正しく製版されたことを確認し、 [OK] をクリックする

正しく製版されないときは、「故障かな？」と思ったら 67 ページを参照してください。

35 CD-ROM ドライブから CD-ROM 「RISO GOCCOPRO Printer Driver」を取り出す

これで本機が使用できるようになりました。

以上でプリンタドライバのインストールは完了です。

❗重要 付属 CD-ROM 「RISO GOCCOPRO
Printer Driver」は大切に保管してください。

USB ポートの作成

Windows 7 (64-bit) または Windows Vista (64-bit) に USB ケーブル接続でプリンタドライバをインストールする場合は、「USB ポートの作成」31 ページと「USB 機器の関連付け」32 ページの作業が必要です。

❶ 重要 プリンタドライバのインストール前に行ってください。

1 本機の電源スイッチを ON にし、本機に USB ケーブルを接続する

2 パソコンを起動する

3 パソコンに USB ケーブルを接続する

自動的に USB ポートが作成されます。手順 4 以降で USB ポートの確認を行います。

❶ 重要 【デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。】が表示されるのを確認してください。Windows 7 はタスクトレイ、Windows Vista はダイアログボックスに表示されます。

【参考】 Windows Vista で「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示されたときは、「後で再確認します」を選択してください。

4 【プリントサーバーのプロパティ】を開く

Windows 7 の場合

- ① [スタート] アイコン - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックして [デバイスとプリンター] フォルダを開きます。
- ② 既存のプリンターをクリックし、画面上部の [プリントサーバープロパティ] をクリックします。

Windows Vista の場合

- ① [スタート] アイコン - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] をクリックして [プリンタ] フォルダを開きます。
- ② フォルダ内の余白部分で右クリックして表示されるメニューから、[管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] の順に選択します。

5 【ポート】タブをクリックし、[このサーバー上のポート] に、[USB***] ポートがあることを確認する

このポート名をプリンタドライバのインストール時に選択しますので、記録しておいてください。

6 パソコンから USB ケーブルを取り外す

USB 機器の関連付け

❶ 重要 プリンタドライバのインストール後に行ってください。

- 1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続する
自動的に関連付けが行われます。手順 2 以降で関連付け結果の確認を行います。
- 2 [デバイスマネージャー] を起動する
[スタート] – [プログラムとファイルの検索] 欄に「デバイスマネージャー」と入力し、表示されたメニューから [デバイスマネージャー] をクリックします。
- 3 メニューの [表示] をクリックし、[非表示のデバイスの表示] にチェックをつける
- 4 一覧の [プリンター] をクリックし、インストールした機種が登録されていることを確認する
- 5 [デバイスとプリンター] を開き、インストールした機種が登録されていることを確認する

ネットワーク接続（LAN）の場合

本機を LAN に接続するには、オプションの「RISO Network Card」が必要です。

インストールの前に

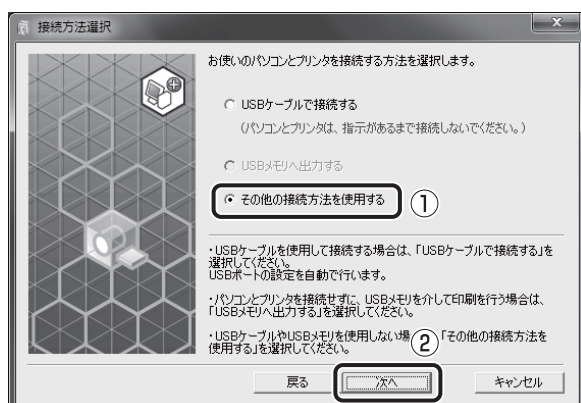
- 事前に「RISO Network Card」付属の「RISO Network Card 取扱説明書」を読み、本機との接続や IP アドレスなどの設定を行ってください。
- 本機にマスターをセットしておいてください。
▶参照「マスターをセットする」22 ページ

- ❗ 重要
- ・ 市販の 10BASE-T または 100BASE-TX に対応した Ethernet シールドケーブル（カテゴリー 5 またはそれ以上）を用意してください。
 - ・ システム設定を変更する権限を持ったアカウント（Administrator など）で Windows にログインしてください。

参考 手動でプリンタドライバをインストールする場合は、「プリンタドライバの手動インストール」75 ページを参照してください。

1 25 ページの「インストール手順」1～4 の操作を行う

- 2
- ① [その他の接続方法を使用する] をクリックする
 - ② [次へ] をクリックする



- 3
- ① [GOCCOPRO Series] をクリックして反転表示にする
 - ② [次へ] をクリックする



4 ① [GOCCOPRO Series] が選択されていることを確認する

② [次へ] をクリックする



参考 「インストール方法」画面が表示された場合は、
[次へ] をクリックしてください。

5 26 ページの「インストール手順」10～17の操作を行う

これで本機が使用できるようになりました。

❗重要 付属 CD-ROM「RISO GOCCOPRO
Printer Driver」は大切に保管してくださ
い。

2

製版のしかた

パソコンで作成した原稿データを本機で製版する手順を説明します。

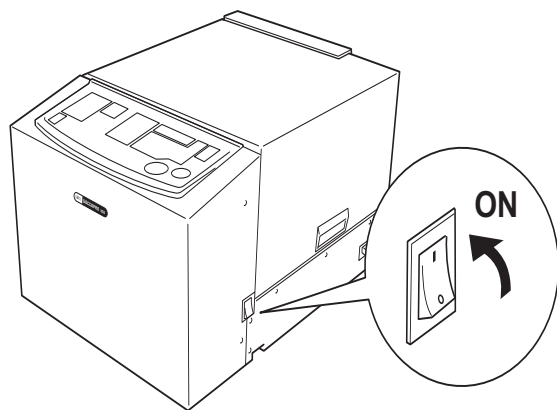
原稿データはあらかじめパソコンで作成しておいてください。

再製版するときは、「③フレームを選択する」42 ページから操作してください。

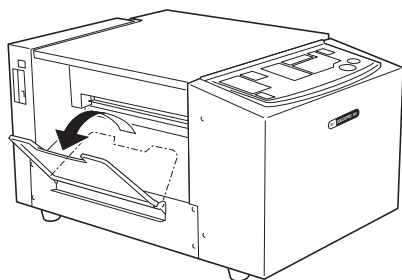
- ・ ①本機の準備をする [▶参照](#) 36 ページ
- ・ ②パソコンから原稿データを送信する [▶参照](#) 37 ページ
- ・ ③フレームを選択する [▶参照](#) 42 ページ

①本機の準備をする

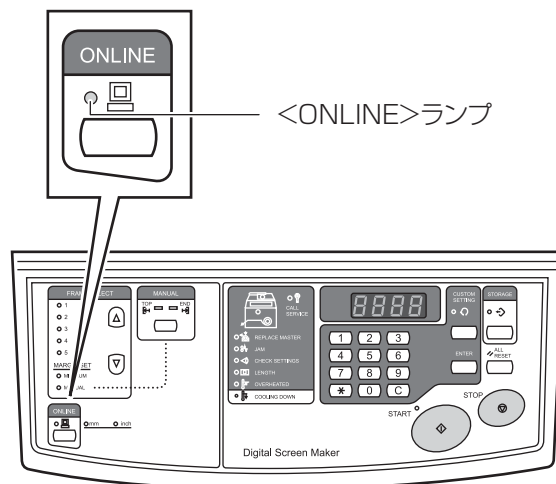
1 本機の電源スイッチを ON にする



2 マスタートレイを開く



3 操作パネルの<ONLINE>ランプが点灯していることを確認する



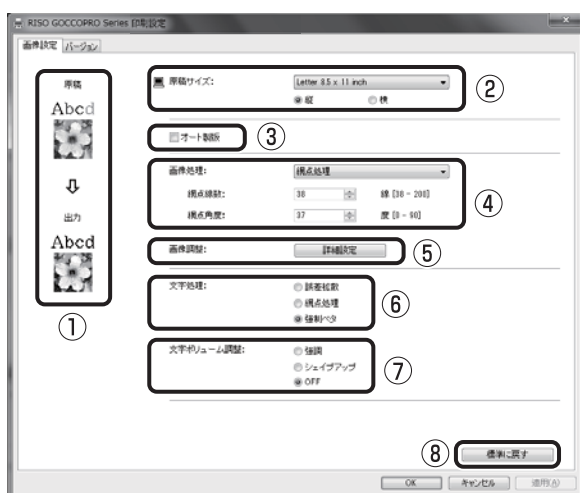
<ONLINE> ランプが点灯していないときは、<ONLINE> キーを押して、オンラインにしてください。

参考 <REPLACE MASTER> ランプが点灯しているときは、新しいマスターをセットしてください。

▶参照 「マスターをセットする」 22 ページ

プリンタドライバの設定内容

【画像設定】タブ



① 処理イメージ：

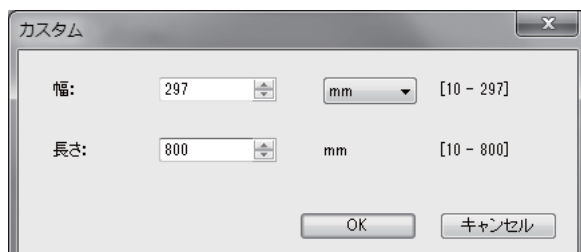
選択した設定が製版時にどう反映されるか簡易イメージで表示されます。

② 原稿サイズ：

原稿データのサイズ（大きさ）と向き（縦／横）を指定します。

❗ 重要 原稿データを作成したアプリケーションで指定した原稿サイズと同じサイズを指定してください。

【参考】 ・ [カスタム] を選択すると [カスタム] 画面が表示され、原稿幅と長さを手動で入力できます。
原稿サイズの単位（mm/inch）も切り替えることができます。



- ・ あらかじめよく使う不定形の原稿のサイズをプリンタドライバに登録しておくと、[原稿サイズ] のプルダウンメニューから選択できるので便利です。

▶参照「原稿サイズの登録」74 ページ

③ オート製版：

✓を付けていると、パソコンから本機に送信された原稿データは製版待ちにはならず、すぐに製版します。

通常は✓を外した状態で使用してください。

また、原稿データを受信した時点で選択されているフレームで製版を行います。

④ 画像処理：

中間調やカラー画像の階調表現の処理方法（ハーフトーン処理）を次の2種類から選択できます。

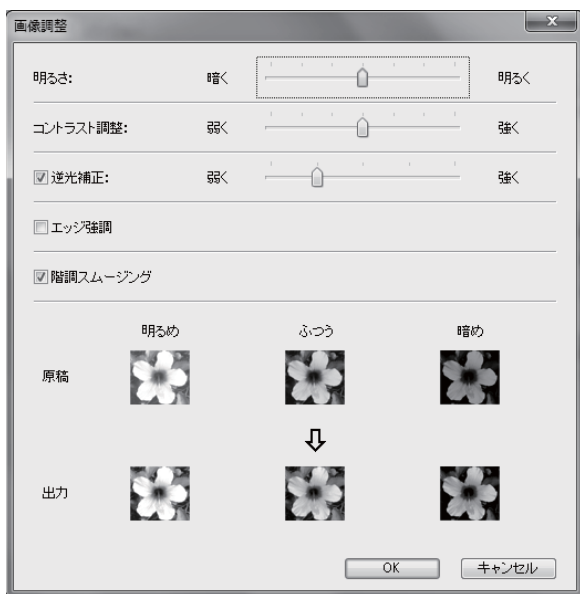
処理方法	階調の表現方法	階調の表現度	細部の再現度
網点処理	原稿の濃度に応じて、網点の大きさを変えて階調を表現します。	高	低
誤差拡散	原稿の濃度に応じて1ドットごとに孔を開けるか開けないかで、階調を表現します。	低	高

「網点処理」を選択した場合は、次のパラメータを設定できます。

- ・ **網点線数**：網点の細かさを線数で設定できます。1 インチ（25.4mm）内に何個網点かを並ぶかを表します。
 - 単位： 線
 - 設定範囲： 38 ～ 200 線
 - 初期値： 38 線
- ・ **網点角度**：網点の並ぶ角度を設定できます。モアレ（干渉縞）が発生した場合などに調整します。
 - 単位： 度
 - 設定範囲： 0 ～ 90 度
 - 初期値： 37 度

⑤ **画像調整**：

「[詳細設定]」をクリックすると、「[画像調整]」画面が表示されます。



- ・ **明るさ**：画像の明るさを 7 段階で調整できます。
- ・ **コントラスト調整**：画像のコントラストを 7 段階で調整できます。
- ・ **逆光補正**：✓を付けると、逆光補正を行って画像をくっきりさせることができます。5 段階で調整できます。写真などの画像データの場合に有効です。
- ・ **エッジ強調**：✓を付けると、画像の輪郭をはっきりさせることができます。
- ・ **階調スムージング**：「画像処理」で「網点処理」を選択している場合に、階調表現が滑らかになります。

⑥ **文字処理** ※

文字部分の表現方法を指定します。

- ・ **誤差拡散**：マスターに開ける孔の密度で階調を表現します。明るい色は密度を低くし、暗い色は密度を高くして表現します。
- ・ **網点処理**：文字部を網点で表現します。細かな文字の表現には向きません。
- ・ **強制ベタ**：すべてベタで表現します。文字をはっきり表現したいときに使用します。色の濃淡の違いは表現できません。

⑦ 文字ボリューム調整※

文字の太さを指定できます。

- ・ **強調**：文字を太くしてカスレを防止します。
- ・ **シェイプアップ**：文字を細くしてツブレを防止します。
- ・ **OFF**：文字の太さは調整しません。

※これらの文字処理は、原稿の段階でテキスト情報を持ち、フォントの種類が変更できる状態の場合にのみ行えます。

⑧ 標準に戻す

すべての設定を初期値に戻します。

[バージョン] タブ

プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。
不具合が発生してサポートセンターにお問い合わせいただく際に、この画面でバージョンを確認してお知らせください。



③ フレームを選択する

使用するフレームを選択します。

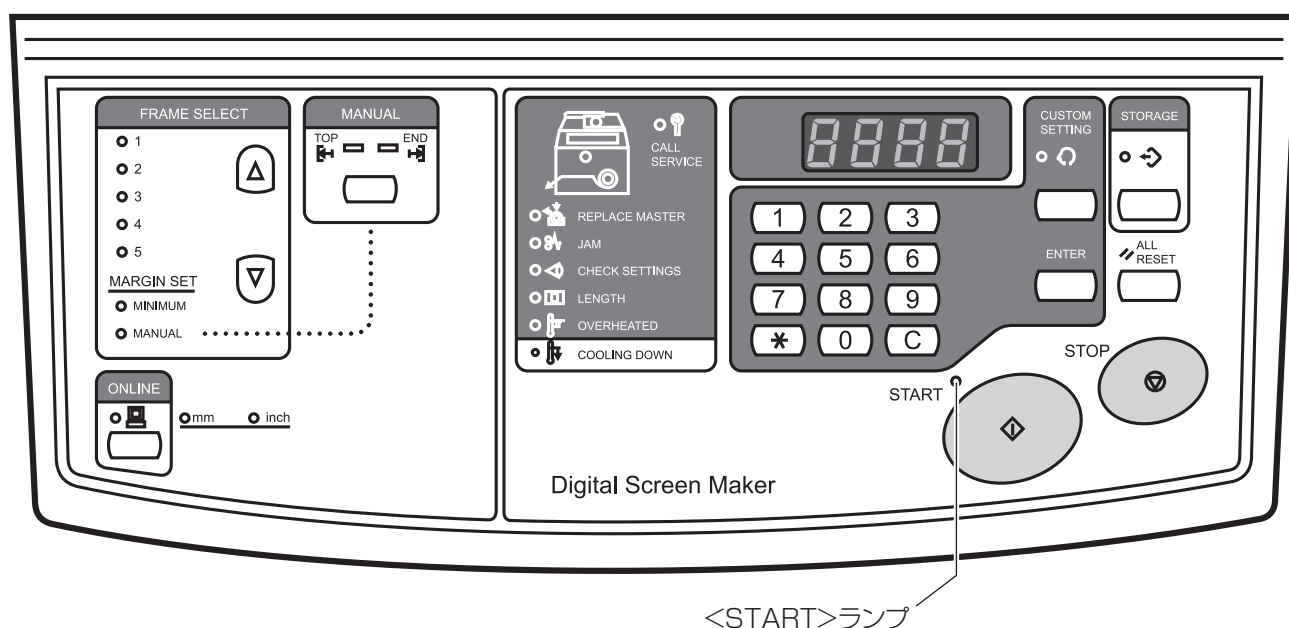
本機で作成するマスターには、当社推奨のワンタッチフレームやお手持ちのフレームを取り付けることができます。

本機には、長さの異なるフレームを5種類まで登録できます。製版前に原稿データのサイズに応じたフレームを登録しておくくと便利です。

▶参照「フレームの登録方法」52 ページ

フレームの選択と製版の開始

- 1 本機の前まで移動する
- 2 <START> ランプが点灯していることを確認する



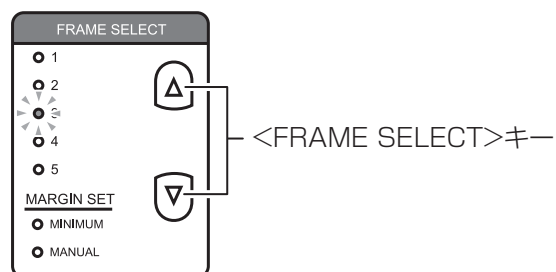
<START> ランプが消えているとき
原稿データが受信されていません。もう一度パソコンで出力操作を行って、原稿データを送信してください。

<ONLINE> ランプが点滅しているとき
原稿データを受信中です。<ONLINE> ランプと <START> ランプが点灯に変わるまで待ってください。

▶参照「②パソコンから原稿データを送信する」37 ページ

【参考】 再製版する場合は、<STORAGE> ランプが点灯していることを確認します。

- 3 <FRAME SELECT> キーを押して、使用するフレームを選択する



ユーザーモードの「フレーム設定」で登録されているフレームと、「MINIMUM」、「MANUAL」から選択できます。

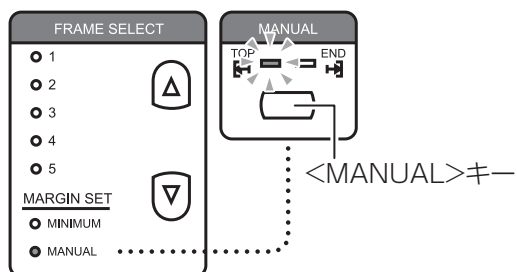
選択されているフレームのランプが点灯します。

▶参照「製版に必要な余白量について」14 ページ

<MANUAL>（任意余白設定）を選択した場合

次の手順で TOP 側と END 側の余白量を入力してください。

1 <MANUAL> キーを押して、余白量を設定する側（TOP 側 / END 側）を選択する



現在の余白量がディスプレイに表示されます。

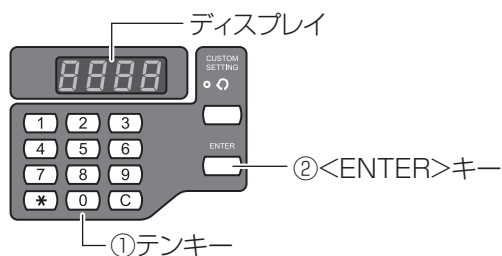
参考 工場出荷時、TOP 側と END 側の余白量は 60mm に設定されています。

2 ① テンキーで任意の余白量を入力する

入力した数値が点滅します。

② <ENTER> キーを押して余白量を決定する

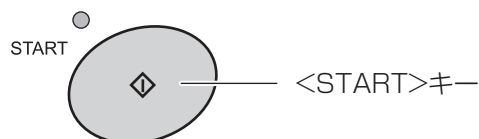
入力した数値が点灯します。



参考

- ・ TOP 側と END 側の両方の余白量を設定する場合は、手順 1、2 を繰り返します。
- ・ 入力する数値の単位は <mm/inch> 表示ランプで確認できます。
- ・ 本機の電源スイッチを OFF にするまで、設定した余白量は記憶されます。

4 <START> キーを押す



製版が始まります。

製版されたマスターがマスター出口から出てきます。

参考 ・ 製版を中断したいときは、<STOP> キーを長押し（1 秒以上）してください。製版を中止して、カットされたマスターがマスター出口から排出されます。

マスターの TOP 側余白部分の搬送中に <STOP> キーを押した場合、製版動作が停止し、ディスプレイには「A-34」が表示されます。この場合は、マスターを巻き戻してセットし直してください。

▶参照「エラー表示ランプが点灯したら」64 ページ

- ・ 製版待ちの原稿データを削除したいときは、<ONLINE> キーを押してください。
- ・ 再製版するときは <STORAGE> キーを押します。再製版データは、次の操作を行うまで何度でも繰り返し使用できます。
 - ・ 新しい原稿データを受信する
 - ・ 本機の電源をオフにする

重要

- ・ マスターを取り出すときは、折り曲げないように注意してください。
- ・ フレーム 1 ～ 5 を選択していて、フレームの長さが、「TOP 側余白量の最小値」、「原稿データの長さ」、「END 側余白量の最小値」の合計よりも短い場合は、「LENGTH」エラーが表示されます。大きいサイズのフレームを選択するか、[MINIMUM]、[MANUAL] を選択してください。

▶参照「エラー表示ランプが点灯したら」64 ページ

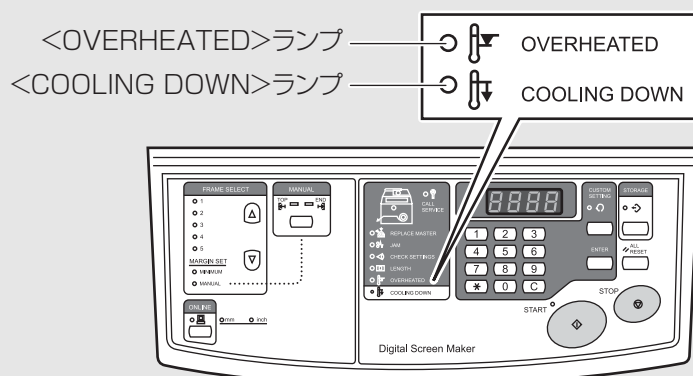
コラム

サーマルヘッドのオーバーヒートとクールダウン

本機では、サーマルヘッドの発する熱によって直接マスターに細かな孔を開けています。長時間の使用や、画像率の高い原稿データを製版し続けるとサーマルヘッドに熱が蓄積していくため、本機は自動的にクールダウン（冷却動作）を行います。

クールダウン中は操作パネルの＜COOLING DOWN＞ランプ（クールダウンランプ）が点灯します。

次の製版はサーマルヘッドの温度が下がって＜COOLING DOWN＞ランプが消灯するまで開始されません。

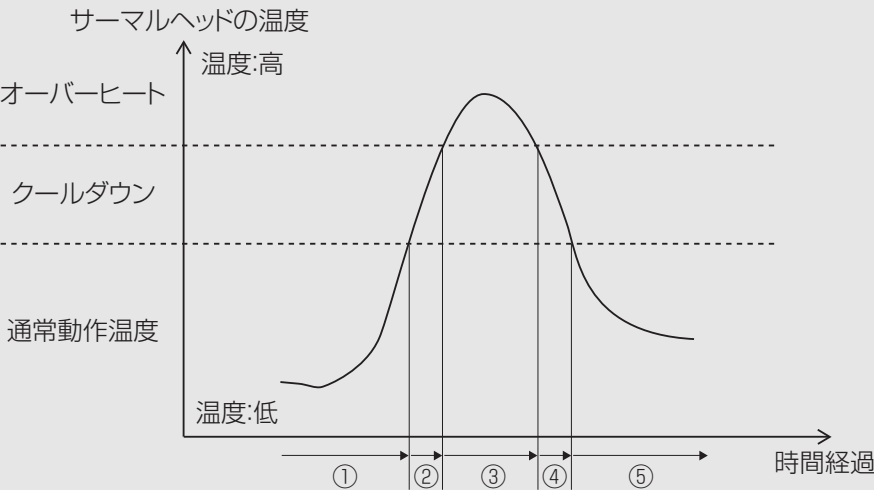


原稿データの画像率や製版の長さ、本体内の温度などの条件からオーバーヒートすることが予測される原稿データを受信した場合、＜START＞キーを押した製版の開始時にディスプレイに「F-34」（オーバーヒート警告）が表示されます。
（▶参照 46 ページ）

エラーの対処方法は、「エラー表示ランプが点灯したら」64 ページを参照してください。

製版中にオーバーヒートすると、「オーバーヒートエラー（P-90）」となって、製版が中止され、カットされたマスターがマスター出口から排出されます。
（▶参照 次ページ）

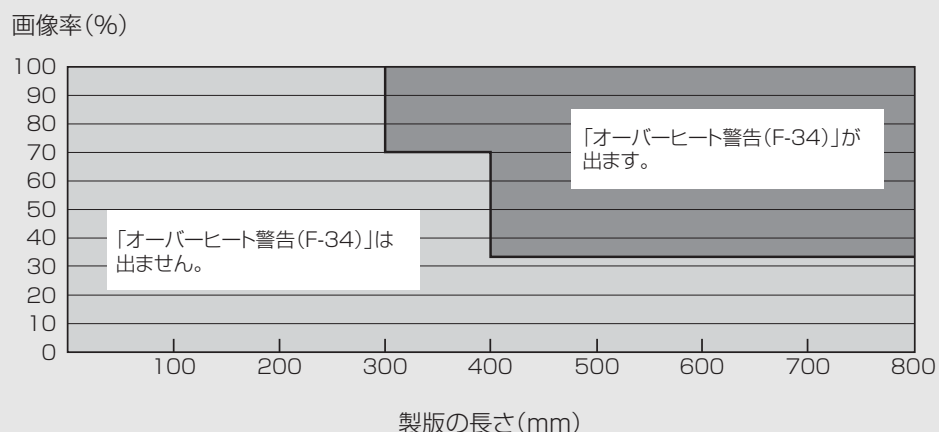
オーバーヒートが発生した原稿を製版し直しても、再度オーバーヒートが発生して最後まで製版できない場合があります。



● 点灯 ● 点滅 ○ 消灯

	ランプの状態	製版動作	対処方法
①	○ OVERHEATED ○ COOLING DOWN	製版できる / 製版中	—
②	○ OVERHEATED ○ COOLING DOWN	製版中	製版が終了すると、<COOLING DOWN> ランプが点灯します。ランプが消えるまで次の製版は行えません。
③	● OVERHEATED ● COOLING DOWN	製版中止	<OVERHEATED> ランプが点滅します。 <ALL RESET> キーを押してエラーを解除してください。 (<OVERHEATED> ランプは消灯します。) 次の製版は <COOLING DOWN> ランプが消えるまでお待ちください。 <ONLINE> キーを押すと、原稿データを削除できます。
④	○ OVERHEATED ● COOLING DOWN	製版できない	ランプが消えるまで次の製版は行えません。
⑤	○ OVERHEATED ○ COOLING DOWN	製版できる	—

画像率と製版の長さの組み合わせと、オーバーヒート警告（F-34）の関係は、次のグラフのようになっています。



製版の長さが 800mm でも画像率が 30% 未満の場合は「オーバーヒート警告」は出ません。



製版の長さが 800mm で画像率が 30% 以上の場合は、「オーバーヒート警告」が出ます。

参考

- ・ オーバーヒート警告（F-34）が出ない原稿の画像率と製版の長さの組み合わせであっても、連続して製版を行うと、オーバーヒート（P-90）する場合があります。
- ・ 本機を使用する環境温度や、製版を繰り返す間隔によって、オーバーヒートするまでの製版回数は異なります。

3

より使いやすくする ための設定

「ユーザーモード」で本機の初期設定（電源を ON にしたときの設定）をよく使う設定に変えたり、任意のフレームサイズを登録しておくことで、本機をより便利に使用できます。

変更された初期設定は、もう一度「ユーザーモード」で設定し直すまで有効です。

- ・ユーザーモードで設定できること [▶参照](#) 48 ページ
- ・ユーザーモードの設定方法 [▶参照](#) 51 ページ
- ・フレームの登録方法 [▶参照](#) 52 ページ

ユーザーモードで設定できること

次の項目を変更できます。

項目 No.	項目名	説明	設定 No.	設定内容（設定範囲）	初期設定（工場出荷時設定）
1	フレーム 1 設定	操作パネルの ＜FRAME SELECT＞で 「1」～「5」を選択した場合の、フレーム長さを登録 できます。 詳しくは、「フレームの登録 方法」52 ページを参照して ください。	－	フレーム長さ 200mm～1200mm	590mm ワンタッチフレーム厚枠 53 (590mm) のサイズ
2	フレーム 2 設定		－		480mm ワンタッチフレーム厚枠 42 (480mm) のサイズ
3	フレーム 3 設定		－		なし 0mm
4	フレーム 4 設定				
5	フレーム 5 設定				
6	最小余白設定 (END 余白)	操作パネルの ＜FRAME SELECT＞で 「MINIMUM」を選択した場合の、END 側の余白量を登録 できます。 TOP 側の余白量は 60mm で固定です。	－	15mm～30mm	30mm
7	フレーム選択 初期設定	電源 ON 時に、操作パネル の＜FRAME SELECT＞で 最初に選択されているフ レームを指定できます。	0	フレーム 1	0：フレーム 1
			1	フレーム 2	
			2	フレーム 3	
			3	フレーム 4	
			4	フレーム 5	
			5	MINIMUM（最小余白）	
			6	MANUAL（任意余白）	
8	オートシャット オフ	本機を一定時間使用しな かった場合に、自動的に電 源を OFF にするかどうかを 指定できます。	0	OFF (自動で電源を切らない)	1：ON
			1	ON（自動で電源を切る）	

項目 No.	項目名	説明	設定 No.	設定内容（設定範囲）	初期設定 （工場出荷時設定）
9	オートシャット オフ時間	「オートシャットオフ」を 「ON」に設定している場合に、 本機の電源を OFF にする までの時間を指定できます。	0	5 分	0 : 5 分
			1	15 分	
			2	30 分	
			3	60 分	
			4	90 分	
10	ブザー音	キー操作時やエラー発生時 にブザー音を鳴らすかどう かを指定できます。	0	OFF （ブザー音を鳴らさない）	1 : ON
			1	ON （ブザー音を鳴らす）	
11	ミリ / インチ 切り替え	ディスプレイに表示される 数値の単位を指定できます。	0	ミリ	1 : インチ
			1	インチ	
30	マスター製版 カウンタ	製版したマスターの合計枚 数が表示されます。	—	—	—
31	マスター走行 カウンタ	製版したマスターの総延長 を 420mm で割った数値が 表示されます。	—	—	—
40	画像伸縮補正	マスター搬送方向に画像伸 縮が発生した場合の伸縮率 を、25 段階で補正できま す。 詳しくは、「画像伸縮補正の 設定内容」57 ページを参照 してください。	0 ～ 24	－ 2.00% ～ +4.00% (0.25% 刻みで調節可 能)	8 : 0%

項目 No.	項目名	説明	設定 No.	設定内容（設定範囲）	初期設定 （工場出荷時設定）
70	ネットワーク カード IP アドレス設定	RISO Network Card に IP アドレスを設定します。 詳しくは、「IP アドレスの設 定方法」54 ページを参照し てください。	—	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	0.0.0.0
73	ネットワーク カード初期化	現在設定されているネット ワークの設定を初期化して、 工場出荷時の初期値の状態 に戻します。初期化を行う と、RISO Network Card の設定内容は全て失われま す。 詳しくは、「ユーザーモード ／ネットワークカードを初期 化する」56 ページを参照し てください。	—	—	—
99	ユーザーモード 設定初期化	設定内容を工場出荷時の初 期値の状態に戻します。 詳しくは、「ユーザーモード ／ネットワークカードを初期 化する」56 ページを参照し てください。	—	—	—

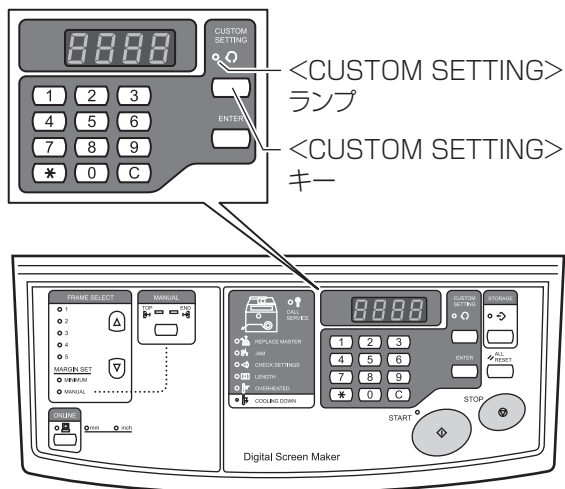
ユーザーモードの設定方法

ユーザーモードは本機の操作パネルで設定します。

設定できる項目は「ユーザーモードで設定できること」48 ページを参照してください。

参考 「1：フレーム 1 設定」～「5：フレーム 5 設定」でのフレームサイズの登録方法は、「フレームの登録方法」52 ページを参照してください。

1 <CUSTOM SETTING> キーを押す



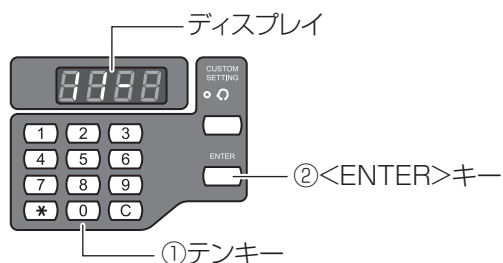
<CUSTOM SETTING> ランプが点灯します。

2 ① テンキーで、設定を変更したい項目の項目 No. を入力する

例) 「ミリ / インチ切り替え」を設定するとき
は、「11」と入力します。

参考 項目 No. を入力し直したいときは、<C> キーを押して入力した数値を消してください。

② <ENTER> キーを押す



3 ① テンキーで目的の設定 No. を入力する

例) 「ミリ」を設定するときには、「0」と入力します。

参考 設定 No. を入力し直したいときは、<C> キーを押して入力した数値を消してください。

② <ENTER> キーを押す

変更した設定内容が確定されます。

参考

- ・ <ENTER> キーを押す前に <CUSTOM SETTING> キーを押すと、設定内容は取り消されて本機は通常の状態に戻ります。
- ・ <ENTER> キーを押す前に <START> キーを押すと、設定内容は確定されて本機は通常の状態に戻ります。

4 <CUSTOM SETTING> キーを押す

<CUSTOM SETTING> ランプが消えます。

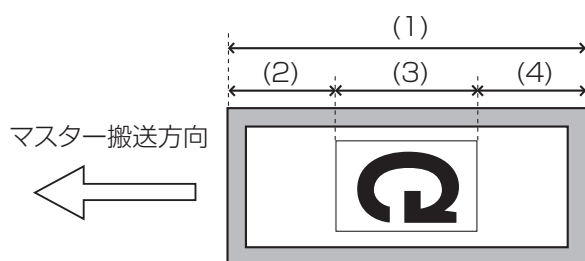
ユーザーモードが終了します。

フレームの登録方法

<FRAME SELECT> で選択できるフレーム 1 ～フレーム 5 には、普段の作業で使うフレームのサイズを登録しておくことができます。フレーム外寸の長さを計って登録してください。

登録したフレームは、操作パネルの<FRAME SELECT> キーを押して選択できます。

❗ 重要 フレーム長さの設定範囲は 200mm ～ 1200mm です。外寸のサイズが下記の範囲外のフレームは登録できません。



(1) フレーム長さ (マスター長さ) *¹ = (2) TOP 側余白量 *² + (3) 原稿データの長さ + (4) END 側余白量 *³

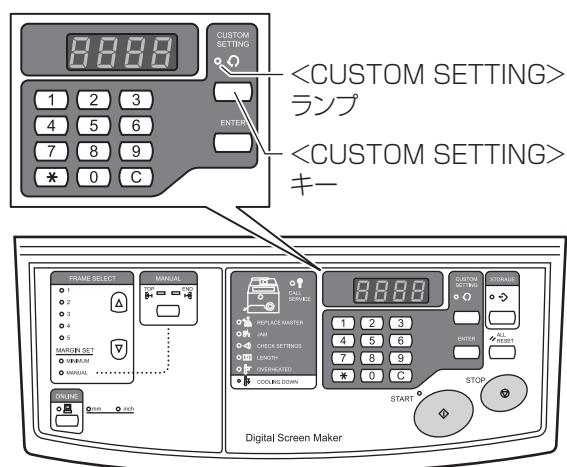
*¹ フレーム長さ : 200mm ～ 1200mm

*² TOP 側余白 : 60mm 以上

*³ END 側余白 : 60mm 以上

参考 フレーム 1 とフレーム 2 には出荷時にそれぞれ「ワンタッチフレーム厚枠 53 (590mm)」と「ワンタッチフレーム厚枠 42 (480mm)」のサイズが登録されています。これらも変更できます。

1 <CUSTOM SETTING> キーを押す



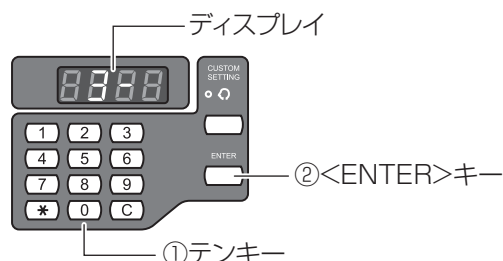
<CUSTOM SETTING> ランプ (ユーザーモードランプ) が点灯します。

2 ① テンキーで設定を変更したい項目の項目No.を入力する

例) フレーム 3 の設定を変更するときは、「3」と入力します。

参考 項目 No. を入力し直したいときは、<C> キーを押して入力した数値を消してください。

② <ENTER> キーを押す



3 ① テンキーでフレーム外寸の長さを入力する

例) フレームの長さが 800mm のときは、
「800」と入力します。

参考 フレームの長さを入力し直したいときは、<C> キーを押して入力した数値を消してから入力してください。

② <ENTER> キーを押す

入力したフレームサイズが本機に登録されます。

参考

- ・ <ENTER> キーを押す前に <CUSTOM SETTING> キーを押すと、設定内容は取り消されて本機は通常の状態に戻ります。
- ・ <ENTER> キーを押す前に <START> キーを押すと、設定内容は確定されて本機は通常の状態に戻ります。

4 続けて他のフレームのサイズも登録したいときは、 手順 2 ～ 3 を繰り返す

5 登録が終わるときは、<CUSTOM SETTING> キーを押す

<CUSTOM SETTING> ランプが消えます。

これでフレームの登録は完了です。

登録したフレームが、<FRAME SELECT> キーを押して選択できるようになりました。

コラム

登録済みのフレームを消去するには

次の手順で消去できます。

1 <CUSTOM SETTING> キーを押す

<CUSTOM SETTING> ランプが点灯します。

2 ① 消去したいフレーム番号をテンキーで入力する

例) フレーム 3 を消去するときは、「3」を入力します。

② <ENTER> キーを押す

3 ① <C> キーを押して、登録されている数値を消去する

② <0> キーを押して「0」を入力する

③ <ENTER> キーを押す

4 <CUSTOM SETTING> キーを押す

<CUSTOM SETTING> ランプが消えます。

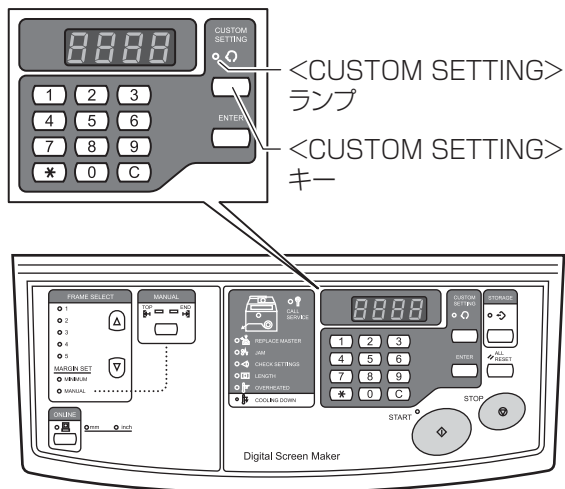
IP アドレスの設定方法

ネットワークカードの IP アドレス（オプションの RISO Network Card 装着時のみ）を本機の操作パネルで設定します。

重要 mac OS 10.15 で使用する場合は、RISO Network Card に付属の RISO-ADMIN での設定ができません。本機の操作パネルで設定してください。

参考 mac OS 10.14 以前で使用する場合は、RISO Network Card に付属の RISO-ADMIN を使用して設定することもできます。
詳しくは、RISO Network Card の取扱説明書を参照してください。

1 <CUSTOM SETTING> キーを押す

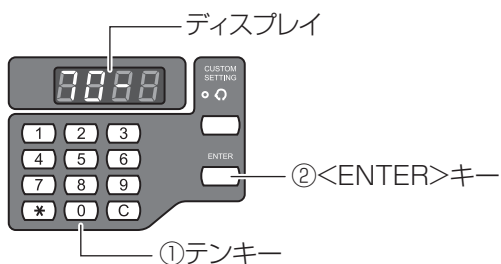


<CUSTOM SETTING> ランプが点灯します。

2 ① テンキーで、項目 No. 「70」を入力する

参考 項目 No. を入力し直したいときは、<C> キーを押して入力した数値を消してください。

② <ENTER> キーを押す



重要 項目 No. 「70」が実行できない場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

3 ① テンキーで 1 組目の数字を入力する

例) 1 組目の数字が 192 のときは、「192」と入力します。



参考

- ・ 1 組目の入力時は左端に何も表示されません。
- ・ 1 組目の数字を入力し直したいときは、<C> キーを押して入力した数値を消してください。

② <ENTER> キーを押す

2 組目の数字の入力待ちになります。

参考

- ・ <ENTER> キーを押す前に <CUSTOM SETTING> キーを押すと、設定内容は取り消されて本機は通常の状態に戻ります。
- ・ <ENTER> キーを押す前に <START> キーを押すと、設定内容は確定されて本機は通常の状態に戻ります。

4 ① テンキーで 2 組目の数字を入力する

例) 2 組目の数字が 168 のときは、「168」と入力します。



参考

- ・ 2 組目の入力時は左端に **8** が表示されます。
- ・ 2 組目の数字を入力し直したいときは、<C> キーを押して入力した数値を消してください。

② <ENTER> キーを押す

3 組目の数字の入力待ちになります。

参考

- ・ <ENTER> キーを押す前に <CUSTOM SETTING> キーを押すと、設定内容は取り消されて本機は通常の状態に戻ります。
- ・ <ENTER> キーを押す前に <START> キーを押すと、設定内容は確定されて本機は通常の状態に戻ります。

5 ① テンキーで 3 組目の数字を入力する

例) 3 組目の数字が 0 のときは、「0」と入力します。



- 参考**
- ・ 3 組目の入力時は  が表示されます。
 - ・ 3 組目の数字を入力し直したいときは、<C> キーを押して入力した数値を消してください。

② <ENTER> キーを押す

4 組目の数字の入力待ちになります。

- 参考**
- ・ <ENTER> キーを押す前に <CUSTOM SETTING> キーを押すと、設定内容は取り消されて本機は通常の状態に戻ります。
 - ・ <ENTER> キーを押す前に <START> キーを押すと、設定内容は確定されて本機は通常の状態に戻ります。

6 ① テンキーで 4 組目の数字を入力する

例) 4 組目の数字が 1 のときは、「1」と入力します。



- 参考**
- ・ 4 組目の入力時は左端に  が表示されます。
 - ・ 4 組目の数字を入力し直したいときは、<C> キーを押して入力した数値を消してください。

② <ENTER> キーを押す

変更した設定内容が確定されます。

- 参考**
- ・ <ENTER> キーを押す前に <CUSTOM SETTING> キーを押すと、設定内容は取り消されて本機は通常の状態に戻ります。
 - ・ <ENTER> キーを押す前に <START> キーを押すと、設定内容は確定されて本機は通常の状態に戻ります。

7 <CUSTOM SETTING> キーを押す

<CUSTOM SETTING> ランプが消えます。

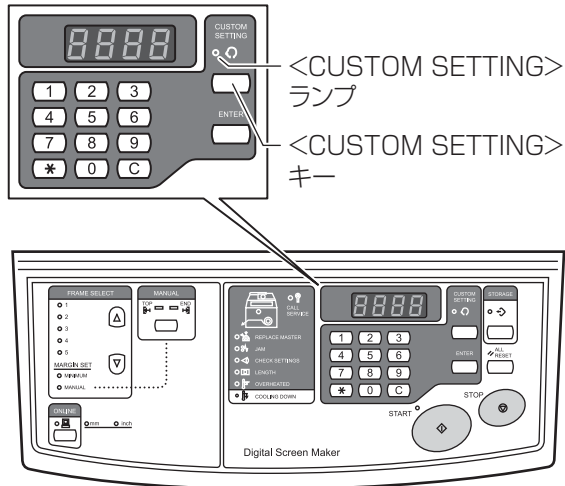
これで IP アドレスの設定は完了です。

ユーザーモード / ネットワークカードを初期化する

ユーザーモードの全ての設定内容とネットワークカードの設定（オプションの RISO Network Card 装着時のみ）を、初期値に戻します。

❶ 重要 初期化後に、初期化前の設定を復帰させることはできません。

1 <CUSTOM SETTING> キーを押す

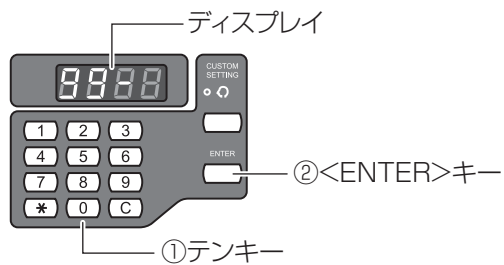


<CUSTOM SETTING> ランプが点灯します。

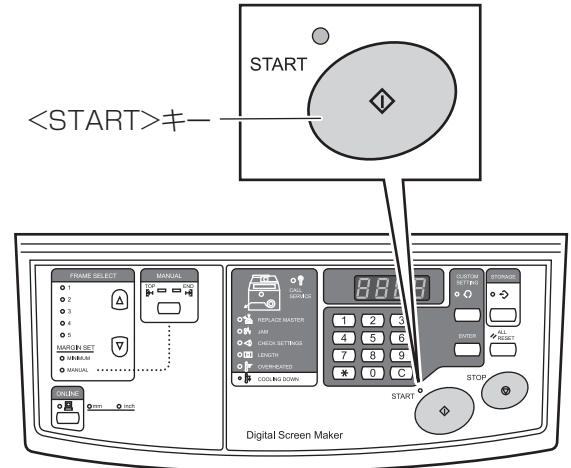
2 ① テンキーで、項目 No. を入力する

- ユーザーモードを初期化するときには、「99」を入力します。
- ネットワークカードを初期化するときには、「73」を入力します。

② <ENTER> キーを押す



3 <START> キーを押す



<CUSTOM SETTING> ランプが消えます。
ユーザーモードが初期化され、通常モードに戻ります。

コラム**画像伸縮補正の設定内容**

画像伸縮率の設定 No. と設定内容は次のとおりです。

参考 設定方法については、「ユーザーモードの設定方法」51 ページを参照してください。

設定 No.	設定内容	設定 No.	設定内容
0	− 2.00%	13	+1.25%
1	− 1.75%	14	+1.50%
2	− 1.50%	15	+1.75%
3	− 1.25%	16	+2.00%
4	− 1.00%	17	+2.25%
5	− 0.75%	18	+2.50%
6	− 0.50%	19	+2.75%
7	− 0.25%	20	+3.00%
8	0%	21	+3.25%
9	+0.25%	22	+3.50%
10	+0.50%	23	+3.75%
11	+0.75%	24	+4.00%
12	+1.00%		

MEMO

4

お手入れ

- ・ 使用できるクリーナー ▶参照 60 ページ
- ・ お手入れのしかた ▶参照 61 ページ

使用できるクリーナー

本機をお手入れするときに使用していただきたいクリーナーを紹介します。

⚠ 警告

- お手入れの前には、必ず電源を切ってください。

❗ 重要 クリーナーを使用する前に、クリーナーの注意書きをよく読んでください。

⚠ 注意

- お手入れに使うクリーナーは事務機専用です。顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでください。クリーナー使用後は必ず手を洗ってください。

理想サーマル ヘッドクリーナー	ペンタイプの使いやすいクリーナーです。サーマルヘッドの発熱部にペン先を当て、なでるように拭き取るだけで、汚れをきれいに落とせます。 (トルエン、キシレン系の溶剤は使用していません。)	
--------------------	--	--

お手入れのしかた

⚠ 注意

- 記載されている以外の作業（調整や修理など）は行わないでください。調整や修理は必ずお買い上げの販売会社に依頼してください。

サーマルヘッドのクリーニング

サーマルヘッドは、マスターを2ロール交換するタイミングでクリーニングしてください。

サーマルヘッドにほこりやゴミなどが付着すると、マスターに原稿データどおり正しく穿孔されず、絵や文字が欠けたりかすれたりすることがあります。

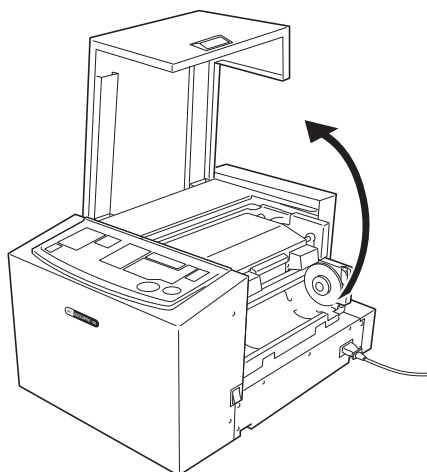
⚠ 注意

🔥 高温注意

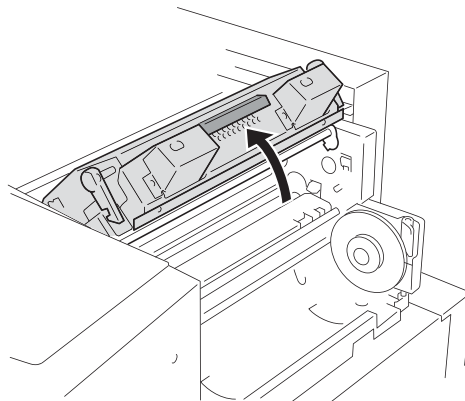
- サーマルヘッドには、指で直接触れないでください。高温になっている場合、やけどをするおそれがあります。

- ❗ 重要
- ・ サーマルヘッドは非常にデリケートな部分ですので、固いもので傷付けたり、衝撃を与えたりすることは、絶対におやめください。
 - ・ サーマルヘッドは静電気によって破損する場合があります。サーマルヘッドをクリーニングする前に、必ず身体に帯電している静電気を除去してください。また、クリーニングのとき以外は、サーマルヘッドに触れないでください。

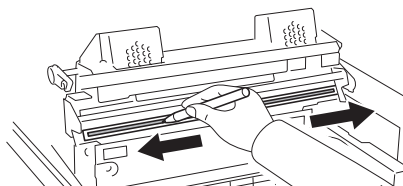
- 1 製版ユニットカバーの取っ手を持ち、カバーを開ける



- 2 製版ユニット開放レバーを握りながら、製版ユニットを開ける



3 サーマルヘッドを「理想サーマルヘッドクリーナー」で数回軽くこすり、汚れを落とす

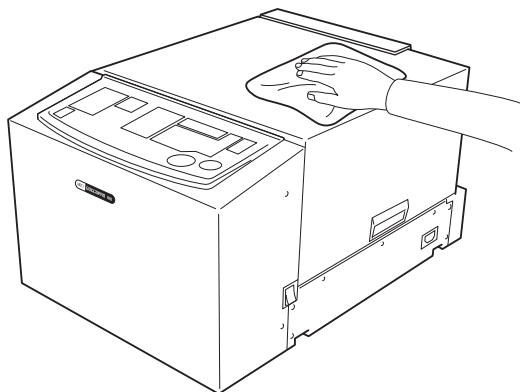


▶参照「マスターをセットする」22 ページ

本体外装部のクリーニング

本体に汚れが付着するのを防ぐために、定期的に全体を中性洗剤で軽く拭いてください。

色落ちする場合がありますが、本機の性能に影響はありません。



5

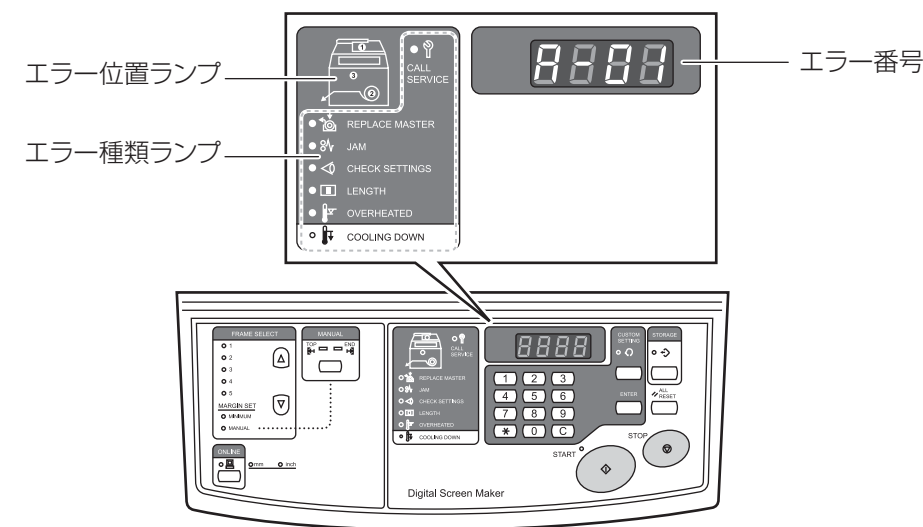
こんなときには

エラー表示ランプが点灯したときや本機が正しく動作しないときの、原因と対処方法を説明しています。

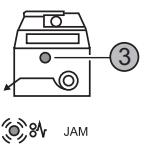
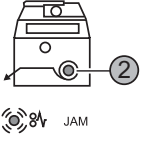
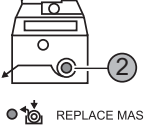
- ・エラー表示ランプが点灯したら ▶参照 64 ページ
- ・「故障かな？」と思ったら ▶参照 67 ページ

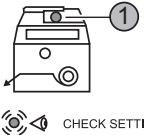
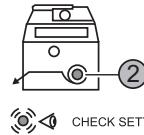
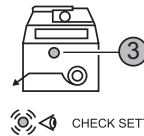
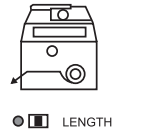
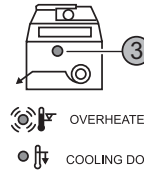
エラー表示ランプが点灯したら

本機に不具合が発生するとエラー位置ランプとエラー種類ランプが点灯または点滅して、ディスプレイにエラー番号が表示されます。ランプの表示とエラー番号から、不具合の内容と対処方法を確認してください。



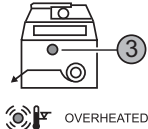
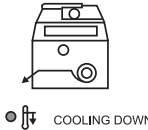
● 点灯 ●● 点滅 ○ 消灯

エラー位置ランプ / エラー種類ランプ	エラー番号	エラー内容	対処方法
 JAM	A-01	マスターが正しく送られていません。	マスターを取り出し、正しくセットし直してください。 ▶参照「マスターをセットする」22 ページ
	A-17	マスターが正しくカットされていません。	マスターをカットしてください。 ▶参照「「故障かな？」と思ったら」(マスターがカットされない) 67 ページ
 JAM	A-34	マスターがつまりました。	マスターを取り出し、正しくセットし直してください。 ▶参照「マスターをセットする」22 ページ
 REPLACE MASTER	なし	マスターが無くなりました。	製版ユニットカバーを開いて、新しいマスターをセットしてください。 ▶参照「マスターをセットする」22 ページ

エラー位置ランプ / エラー種類ランプ	エラー番号	エラー内容	対処方法
	なし	製版ユニットカバーが開いています。	製版ユニットカバーをしっかりと閉じてください。
	なし	マスターがセットされていないか、正しくセットされていません。	マスターの先端をマスターガイドの下に止まるまで差し込み、製版ユニットカバーをしっかりと閉じてください。 マスターがしわになっていたり、斜めに切れていたりするときは、先端をまっすぐに切ってからセットしてください。 ▶参照「マスターをセットする」22 ページ
	なし	製版ユニットが閉まっています。	製版ユニットをしっかりと閉じてください。 ▶参照「マスターをセットする」22 ページ
	b-32、b-33	RISO Network Card (オプション) のエラーです。	<ALL RESET> キーを押してください。エラーが解除されない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
	L-01	余白量が不足しています。	次の対処を行ってください。 1. <ALL RESET> キーを押してエラーを解除する 2. <FRAME SELECTION> キーでフレームを選択し直す
	P-90	サーマルヘッドのオーバーヒートです。	<ALL RESET> キーを押してエラーを解除してください。ランプが点滅から消灯に変わります。 <COOLING DOWN> ランプが点灯してクールダウン動作を開始します。<COOLING DOWN> ランプが消灯すると、製版が再開できるようになります。

エラー位置ランプ / エラー種類ランプ	エラー番号	エラー内容	対処方法
	P-xx	サービスコールエラーが発生しました。	次のいずれかの方法をおためしてください。 ・ <ALL RESET> キーを押してエラーを解除する ・ 本機の電源を入れ直す それでも本機が動作しない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

● その他の表示

エラー位置ランプ / エラー種類ランプ	エラー番号	エラー内容	対処方法
	F-34	画像率オーバーです。 製版の途中でオーバーヒートする可能性があります。 ▶参照「画像率と製版長さについて」46 ページ	■ 製版を続けるとき <START> キーを押してください。 ■ 製版を中止するとき 次の対処を行ってください。 1. <ALL RESET> キーを押してエラーを解除する 2. <ONLINE> キーを押してオフラインにし、製版待ちデータを削除する 3. もう一度、<ONLINE> キーを押してオンラインに戻る
	なし	サーマルヘッドが高温になりました。	サーマルヘッドのクールダウン中です。 <COOLING DOWN> ランプが消灯すると、次の製版が開始できるようになります。

「故障かな？」と思ったら

「おかしいな?」「故障かな?」と思ったときは、サービスマンに電話をする前に次の点を確認してください。

本体での対処

状況	原因	対処
電源スイッチを ON にしても電源が入らない	電源が正しく接続されていますか？	・ 電源ケーブルのプラグがコンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。 ・ 本体と電源ケーブルが確実に接続されているか確認してください。 ・ 商用電源のブレーカーが落ちていないか確認してください。
マスターは出てくるが、製版されていない	マスターの裏表が正しくない	マスターの表裏を確認して、正しくセットしてください。 ▶参照「マスターをセットする」22 ページ
製版の一部が欠けてしまう 	原稿データのサイズが製版エリアを超えている	原稿データは最大 297mm（幅）×800mm（長さ）まで製版できます。この製版エリアからはみ出した部分は製版されません。 また、画像率が大きい場合は、オーバーヒートにより、製版できないことがあります。 ▶参照「サーマルヘッドのオーバーヒートとクールダウン」44 ページ
製版された部分に白い縦線が入る 	サーマルヘッドにゴミやほこりが付着している	「理想サーマルヘッドクリーナー」でサーマルヘッドを掃除してください。 ▶参照「サーマルヘッドのクリーニング」61 ページ
マスターがカットされない	カッターでマスターが切れなかった	次の手順でマスターをカットしてください。 1. 製版ユニットカバーを開ける 2. 製版ユニットを開ける 3. 電源スイッチを OFF にする 4. マスター出口からマスターを引き出す 5. ハサミでマスターをカットする 6. 電源スイッチを ON にする 7. マスターを巻き戻してセットし直す ▶参照「マスターをセットする」22 ページ

状況	原因	対処
<START> ランプが点灯している	受信データが出力待ちの状態ではありませんか？	<START> キーを押して、出力してください。 製版待ちのデータを削除するときは、<ONLINE> キーを押してください。
枚数カウンターに「---」が表示され、本機が動作しない	動作中に電源を切ってしまった等	<START> キーを押してください。

プリンタドライバでの対処

状況	確認ポイント	対処
本機の <ONLINE> ランプは点灯しているが、製版されない	パソコン側のデータ送信は完了していますか？ (アプリケーションの出力動作は完了していますか？)	・ [プリンタ] フォルダ内の「RISO GOCCOPRO Series」をダブルクリックし、データ送信が完了しているか確認してください。 ・ パソコンからのデータ送信が完了するまで、スクリーンセーバーを OFF にしてください。
	アプリケーションソフトで出力動作を中断しませんでしたか？	次の対処を行ってください。 1. 本機の電源スイッチを OFF にする 2. 10 秒ほど待ってから電源スイッチを ON にする
	USB ケーブル、LAN ケーブルが外れていませんか？	次の対処を行ってください。 1. パソコンからの送信をキャンセルする 2. 本機の電源スイッチを OFF にする 3. ケーブルを正しく接続し直す 4. 電源スイッチを ON にする
	アプリケーションソフトの設定（原稿サイズ、原稿の向き、プリンタドライバの選択など）とプリンタドライバの設定が一致していますか？	アプリケーションソフトの設定とプリンタドライバの設定を一致させてください。 ▶参照「プリンタドライバの設定内容」38 ページ

状況	確認ポイント	対処
パソコンからデータを送信しても製版が開始されない	プリンタドライバの「オート製版」の設定が初期設定（OFF）になっていませんか？	本機の＜START＞キーを押して、製版を開始してください。
	プリンタドライバは本機に対応したものに設定されていますか？	プリンタドライバを本機に対応したものに設定してから、アプリケーションで出力操作をやり直してください。
	〔プリンタ〕フォルダ内の「RISO GOCCOPRO Printer Driver」を開くと、データが「印刷待ち」または「印刷中」になっていませんか？	パソコンからのデータ送信が完了するまで待ってください。

思ったような製版結果が得られないとき

状況	確認ポイント	対処
位置がずれて製版される ／ 端が欠けて製版される	アプリケーションソフトで作成した原稿データが製版エリアを超えていませんか？	製版時に、原稿データの TOP 側と END 側に自動で余白が付け足されます。また、製版エリアからはみ出した部分は製版されません。 フレーム種類と原稿データのサイズを確認してください。
文字が正しく製版されない（別の種類の文字になっている）	アプリケーションソフトの出力設定が「プリンタのフォントを使う」になっていませんか？	アプリケーションで、「プリンタのフォントを使う」に設定しないようにしてください。
図形が正しく製版されない	プリンタドライバは本機に対応したものになっていますか？	本機以外のプリンタドライバを選択した状態で原稿データを編集すると、図形などが正しく製版されないことがあります。 本機のドライバを選択した状態で原稿データを編集して、製版し直してください。
画像が崩れる／縮小される	プリンタドライバは本機に対応したものになっていますか？	本機以外のプリンタドライバを選択した状態で製版しないでください。
[原稿サイズ登録] 画面で登録した原稿サイズが [原稿サイズ] のリストに表示されない	サイズ入力後、[原稿サイズ] タブの [追加] をクリックしましたか？	原稿サイズ登録画面で [閉じる] をクリックして画面を閉じてから [原稿サイズタブ] で [OK]（または [適用]）をクリックしてください。 ▶参照「 原稿サイズの登録 」74 ページ
	同じ名称の原稿サイズがすでに登録されていませんか？	別の原稿サイズ名で登録してください。
[原稿サイズ] の [カスタム] に数値を入力できない	設定範囲を超えた数値を入力しようとしていませんか？	入力可能な原稿サイズは、幅：10mm～297mm、長さ：10mm～800mm です。範囲内の数値を入力してください。
	全角文字で入力しようとしていませんか？	半角文字で入力してください。
[原稿サイズ登録] 画面で長い名称が入力できない	入力文字数制限を超える名称を入力しようとしていませんか？	入力できる文字数は 30 文字までです。

状況	確認ポイント	対処
[原稿サイズ登録] 画面で [幅]、[長さ] が入力できない	設定範囲を超えた数値を入力しようとしていませんか？	入力可能な原稿サイズは、幅：10mm～297mm、長さ：10mm～800mm です。範囲内の数値を入力してください。
	全角文字で入力しようとしていませんか？	半角文字で入力してください。

MEMO

付録

- ・ 原稿サイズの登録 [▶参照](#) 74 ページ
- ・ プリンタドライバの手動インストール [▶参照](#) 75 ページ
- ・ プリンタドライバのアンインストール [▶参照](#) 85 ページ
- ・ 消耗品とオプション [▶参照](#) 88 ページ
- ・ 仕様 [▶参照](#) 90 ページ

原稿サイズの登録

任意のサイズの原稿データを作成したい場合は、事前に原稿サイズを本機のプリンタドライバに登録します。

1 パソコンを起動する

2 [プリンタ] フォルダを開く

Windows 10 の場合：

[スタート] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。

Windows 8.1/Windows 8 の場合：

[アプリ] 画面を開き、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。

Windows 7 の場合：

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。

Windows XP の場合：

[スタート] - [設定] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows Vista の場合：

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。

3 [RISO GOCCOPRO Series] のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] (Windows XP/Windows Vista の場合は、[プロパティ]) を選択する

4 [原稿サイズ] タブをクリックする

5 [原稿サイズ登録] をクリックする

- 6 ① [原稿サイズ登録] 画面が表示されたら、幅、長さ、名称を入力する
- ② すべて入力したら、[追加] をクリックする
入力した原稿サイズの名称が定形用紙のリストに表示されます。



7 [原稿サイズ登録] 画面で [閉じる] をクリックする

- 参考**
- ・ [ファイルに保存する] をクリックすると、入力した情報を原稿サイズ登録ファイル (拡張子 *.udp) として保存できます。
 - ・ 原稿サイズ登録ファイルからプリンタドライバに原稿サイズを登録するときは、[ファイルを開く] をクリックしてファイルを指定します。
 - ・ 横長の原稿を登録する場合は、長辺の長さを [幅] に、短辺の長さを [長さ] に入力してください。
 - ▶参照「横長の原稿を製版する場合」14 ページ
 - ・ 名称欄に名称とサイズを入力しておくと、原稿サイズの選択時にサイズが分かるので便利です。
 - ・ 登録できる原稿サイズは次のとおりです。
幅：10mm～297mm
長さ：10mm～800mm
 - ・ 登録した原稿サイズを削除するには、削除する原稿サイズをクリックして選択し、[削除] をクリックします。

8 [OK] をクリックする

これで原稿サイズの登録は完了です。

プリンタドライバの手動インストール

インストーラを使用せずにプリンタドライバをインストールする手順を説明します。

Windows 10

- ❶ 重要
- ・ プリンタドライバをインストールするときは、システム設定を変更する権限のあるアカウント（Administrator など）で Windows にログオンしてください。
 - ・ プリンタ共有には対応していません。

USB 接続の場合

1 本機の電源スイッチを ON にする

2 本機に USB ケーブルを接続する

3 パソコンを起動する

4 パソコンに USB ケーブルを接続する

❶ 重要

タスクトレイに「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」が表示されるまで次の手順に進まないでください。

5 「デバイスマネージャー」を起動する

「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「デバイスマネージャー」をクリックしてください。

6 「ほかのデバイス」－「〔ご使用の印刷機名〕」を右クリックして表示されるメニューから「ドライバーソフトウェアの更新」をクリックする

【参考】 プリンタ名が表示されていない場合は、「操作」－「ハードウェア変更後のスキャン」をクリックしてください。

7 「コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックする

8 付属 CD-ROM「RISO GOCCOPRO Printer Driver」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

9 「参照」をクリックして、下記のフォルダーを選択し、「OK」をクリックする

Windows 10 (32-bit) の場合：

(CD-ROM)：[Windows 32-bit]－[Driver]－[WinVista_8]－[Japanese]

Windows 10 (64-bit) の場合：

(CD-ROM)：[Windows 64-bit]－[Driver]－[WinVista_8]－[Japanese]

10 「RISO GOCCOPRO Series」を選択し、「次へ」をクリックする

11 「閉じる」をクリックして、パソコンを再起動する

12 「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「デバイスとプリンター」の順にクリックする

13 「RISO GOCCOPRO Series」を右クリックし、表示されたメニューから「プリンターのプロパティ」を選択する

14 「詳細設定」タブの「プリントプロセッサ」をクリックする

15 「プリントプロセッサ」のリストから次のプリントプロセッサをクリックする

Windows 10 (32-bit) の場合 : [R35V8EP]

Windows 10 (64-bit) の場合 : [R35V6EP]

16 「既定のデータ型」のリストから「NT EMF 1.008」を選択し、[OK] をクリックする

17 [全般] タブからテストページを製版し、正しく製版されることを確認する

製版のしかたについては「プリンタドライバをインストールする」26 ページの手順 13 を参照してください。

18 [OK] をクリックして画面を閉じる

ネットワーク接続 (LAN) の場合

❶ 重要 ネットワーク接続をするには、オプションの「RISO Network Card」が必要です。

1 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックする

2 [プリンターの追加] をクリックする

3 [ローカルプリンターを追加します] をクリックする

4 TCP/IP ポートまたは LPR ポートを作成する

5 付属 CD-ROM 「RISO GOCCOPRO Printer Driver」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

6 [ディスク使用] をクリックする

7 [参照] から下記の inf ファイルを選択し、[OK] をクリックする

Windows 10 (32-bit) の場合 :

(CD-ROM) : [Windows 32-bit]

- [Driver] - [WinVista_8] - [Japanese]

- RISODRV.INF

Windows 10 (64-bit) の場合 :

(CD-ROM) : [Windows 64-bit]

- [Driver] - [WinVista_8] - [Japanese]

- RISODRV.INF

8 [RISO GOCCOPRO Series] を選択し、[次へ] をクリックする

9 [プリンター名] を入力して [次へ] をクリックする

10 テストページを製版し、正しく製版されることを確認する

製版のしかたについては「プリンタドライバをインストールする」26 ページの手順 13 を参照してください。

11 [完了] をクリックして画面を閉じる

12 パソコンを再起動する

Windows 8.1/Windows 8

- ❶ 重要 ・ プリンタドライバをインストールするときは、システム設定を変更する権限のあるアカウント（Administrator など）で Windows にログオンしてください。
・ プリンタ共有には対応していません。

USB 接続の場合

- 1 本機の電源スイッチを ON にする
- 2 本機に USB ケーブルを接続する
- 3 パソコンを起動する
- 4 パソコンに USB ケーブルを接続する

❶ 重要 タスクトレイに [デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。] が表示されるまで次の手順に進まないでください。
- 5 [デバイスマネージャー] を起動する
[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスマネージャー] をクリックしてください。
- 6 [ほかのデバイス] - [(ご使用の印刷機名)] を右クリックして表示されるメニューから [ドライバーソフトウェアの更新] をクリックする
 [参考] プリンタ名が表示されていない場合は、[操作] - [ハードウェア変更後のスキャン] をクリックしてください。
- 7 [コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックする
- 8 付属 CD-ROM [RISO GOCCOPRO Printer Driver] をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする
- 9 [参照] をクリックして、下記のフォルダーを選択し、[OK] をクリックする
 Windows 8.1/Windows 8 (32-bit) の場合：
 (CD-ROM) : [Windows 32-bit] - [Driver] - [WinVista_8] - [Japanese]
 Windows 8.1/Windows 8 (64-bit) の場合：
 (CD-ROM) : [Windows 64-bit] - [Driver] - [WinVista_8] - [Japanese]
- 10 [RISO GOCCOPRO Series] を選択し、[次へ] をクリックする
- 11 [閉じる] をクリックして、パソコンを再起動する
- 12 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックする
- 13 [RISO GOCCOPRO Series] を右クリックし、表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] を選択する
- 14 [詳細設定] タブの [プリントプロセッサ] をクリックする

15 「プリントプロセッサ」のリストから次のプリントプロセッサをクリックする

Windows 8.1/Windows 8 (32-bit) の場合 :
[R35V8EP]

Windows 8.1/Windows 8 (64-bit) の場合 :
[R35V6EP]

16 「既定のデータ型」のリストから「NT EMF 1.008」を選択し、[OK] をクリックする

17 [全般] タブからテストページを製版し、正しく製版されることを確認する

製版のしかたについては「プリンタドライバをインストールする」26 ページの手順 13 を参照してください。

18 [OK] をクリックして画面を閉じる

ネットワーク接続 (LAN) の場合

❶ 重要 ネットワーク接続をするには、オプションの「RISO Network Card」が必要です。

1 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックする

2 [プリンターの追加] をクリックする

3 [ローカルプリンターを追加します] をクリックする

4 TCP/IP ポートまたは LPR ポートを作成する

5 付属 CD-ROM「RISO GOCCOPRO Printer Driver」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

6 [ディスク使用] をクリックする

7 [参照] から下記の inf ファイルを選択し、[OK] をクリックする

Windows 8.1/Windows 8 (32-bit) の場合 :
(CD-ROM) : [Windows 32-bit]
- [Driver] - [WinVista_8] - [Japanese]
- RISODRV.INF

Windows 8.1/Windows 8 (64-bit) の場合 :
(CD-ROM) : [Windows 64-bit]
- [Driver] - [WinVista_8] - [Japanese]
- RISODRV.INF

8 [RISO GOCCOPRO Series] を選択し、[次へ] をクリックする

9 [プリンター名] を入力して [次へ] をクリックする

10 テストページを製版し、正しく製版されることを確認する

製版のしかたについては「プリンタドライバをインストールする」26 ページの手順 13 を参照してください。

11 [完了] をクリックして画面を閉じる

12 パソコンを再起動する

Windows 7

- ❶ 重要 ・ プリンタドライバをインストールするときは、システム設定を変更する権限のあるアカウント（Administrator など）で Windows にログオンしてください。
・ プリンタ共有には対応していません。

USB 接続の場合

- 1 本機の電源スイッチを ON にする
- 2 本機に USB ケーブルを接続する
- 3 パソコンを起動する
- 4 パソコンに USB ケーブルを接続する

❶ 重要 タスクトレイに「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」が表示されるまで次の手順に進まないでください。
- 5 「デバイスマネージャー」を起動する

「スタート」－「プログラムとファイルの検索」欄に「デバイスマネージャー」と入力し、表示されたメニューから「デバイスマネージャー」をクリックしてください。
- 6 「ほかのデバイス」－「〔ご使用の印刷機名〕」を右クリックして表示されるメニューから「ドライバーソフトウェアの更新」をクリックする
- 7 「コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックする
- 8 付属 CD-ROM 「RISO GOCCOPRO Printer Driver」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする
- 9 「参照」をクリックして、下記のフォルダーを選択し、「OK」をクリックする
Windows 7 (32-bit) の場合：
(CD-ROM)：[Windows 32-bit]－[Driver]－[WinVista_8]－[Japanese]
Windows 7 (64-bit) の場合：
(CD-ROM)：[Windows 64-bit]－[Driver]－[WinVista_8]－[Japanese]
- 10 「RISO GOCCOPRO Series」を選択し、「次へ」をクリックする
- 11 「閉じる」をクリックして、パソコンを再起動する
- 12 「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「デバイスとプリンター」の順にクリックする
- 13 「RISO GOCCOPRO Series」を右クリックし、表示されたメニューから「プリンターのプロパティ」を選択する
- 14 「詳細設定」タブの「プリントプロセッサ」をクリックする

15 「プリントプロセッサ」のリストから次のプリントプロセッサをクリックする

Windows 7 (32-bit) の場合 : [R35V8EP]

Windows 7 (64-bit) の場合 : [R35V6EP]

16 「規定のデータ型」のリストから「NT EMF 1.008」を選択し、[OK] をクリックする

17 [全般] タブからテストページを製版し、正しく製版されることを確認する

製版のしかたについては「プリンタドライバをインストールする」26 ページの手順 13 を参照してください。

18 [OK] をクリックして画面を閉じる

ネットワーク接続 (LAN) の場合

❶ 重要 ネットワーク接続をするには、オプションの「RISO Network Card」が必要です。

1 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックする

2 [プリンターの追加] をクリックする

3 [ローカルプリンターを追加します] をクリックする

4 TCP/IP ポートまたは LPR ポートを作成する

5 付属 CD-ROM 「RISO GOCCOPRO Printer Driver」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

6 [ディスク使用] をクリックする

7 [参照] から下記の inf ファイルを選択し、[OK] をクリックする

Windows 7 (32-bit) の場合 :

(CD-ROM) : [Windows 32-bit]

- [Driver] - [WinVista_8] - [Japanese]

- RISODRV.INF

Windows 7 (64-bit) の場合 :

(CD-ROM) : [Windows 64-bit]

- [Driver] - [WinVista_8] - [Japanese]

- RISODRV.INF

8 [RISO GOCCOPRO Series] を選択し、[次へ] をクリックする

9 [プリンター名] を入力して [次へ] をクリックする

10 テストページを製版し、正しく製版されることを確認する

製版のしかたについては「プリンタドライバをインストールする」26 ページの手順 13 を参照してください。

11 [完了] をクリックして画面を閉じる

12 パソコンを再起動する

Windows XP

- ❶ 重要
- ・ プリンタドライバをインストールするときは、システム設定を変更する権限のあるアカウント（Administrator など）で Windows にログオンしてください。
 - ・ サーバ OS、プリンタ共有には対応していません。

USB 接続の場合

- 1 本機の電源スイッチを ON にする
- 2 本機に USB ケーブルを接続する
- 3 パソコンを起動し、付属 CD-ROM「RISO GOCCOPRO Printer Driver」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする
- 4 パソコンに USB ケーブルを接続する
[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。
- 5 [一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] をクリックする
- 6 [検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選択し、[次へ] をクリックする
- 7 [ディスク使用] をクリックし、インストールするドライバの inf ファイルを選択する
(CD-ROM) - [Windows 32-bit] - [Driver]
- [WinXP] - [Japanese] - RISODRV.INF
- 8 [RISO GOCCOPRO Series] を選択し、[次へ] をクリックする
- 9 [完了] をクリックする
- 10 パソコンを再起動する
- 11 プリンタフォルダを開き、インストールしたプリンタドライバのプロパティを開く
- 12 [詳細設定] タブの [プリントプロセッサ] をクリックする
- 13 プリントプロセッサのリストから [R35X8EP] をクリックする
- 14 [規定のデータ型] のリストから [NT EMF 1.008] を選択し、[OK] をクリックする
- 15 テストページを製版し、正しく製版されることを確認する
製版のしかたについては「プリンタドライバをインストールする」26 ページの手順 13 を参照してください。

ネットワーク接続（LAN）の場合

❶ 重要 ネットワーク接続をするには、オプションの「RISO Network Card」が必要です。

- 1 「プリンタの追加ウィザード」を開始する
- 2 「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックする
- 3 TCP/IP ポートまたは LPR ポートを作成する
- 4 付属 CD-ROM 「RISO GOCCOPRO Printer Driver」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする
- 5 「ディスク使用」をクリックし、インストールするドライバの inf ファイルを選択する
(CD-ROM) : - [Windows 32-bit] - [Driver]
- [WinXP] - [Japanese] - RISODRV.INF
- 6 「RISO GOCCOPRO Series」を選択し、[次へ] をクリックする
- 7 テストページを製版し、正しく製版されることを確認する
製版のしかたについては「プリンタドライバをインストールする」26 ページの手順 13 を参照してください。
- 8 パソコンを再起動する

Windows Vista

- ❶ 重要
- ・ プリンタドライバをインストールするときは、システム設定を変更する権限のあるアカウント（Administrator など）で Windows にログオンしてください。
 - ・ プリンタ共有には対応していません。

USB 接続の場合

- 1 本機の電源スイッチを ON にする
- 2 本機に USB ケーブルを接続する
- 3 パソコンを起動する
- 4 パソコンに USB ケーブルを接続する
[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。
- 5 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします] - [オンラインで検索しません] の順に選択する
- 6 [ディスクはありません。他の方法を試します] - [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します] の順に選択する
- 7 付属 CD-ROM [RISO GOCCOPRO Printer Driver] をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする
- 8 [参照] をクリックして、インストールするドライバの inf ファイルを選択する
Windows Vista (32-bit) の場合：
(CD-ROM) : [Windows 32-bit] - [Driver] - [WinVista_8] - [Japanese] - RISODRV.INF
Windows Vista (64-bit) の場合：
(CD-ROM) : [Windows 64-bit] - [Driver] - [WinVista_8] - [Japanese] - RISODRV.INF
- 9 [RISO GOCCOPRO Series] を選択し、[次へ] をクリックする
- 10 パソコンを再起動する
- 11 プリンタフォルダを開き、インストールしたプリンタの [プロパティ] を開く
- 12 [詳細設定] タブの [プリントプロセッサ] をクリックする

13 [プリントプロセッサ] のリストから次のプリントプロセッサをクリックする

Windows Vista (32-bit) の場合 : [R35V8EP]

Windows Vista (64-bit) の場合 : [R35V6EP]

14 [規定のデータ型] のリストから [NT EMF 1.008] を選択し、[OK] をクリックする

15 テストページを製版し、正しく製版されることを確認する

製版のしかたについては「プリンタドライバをインストールする」26 ページの手順 13 を参照してください。

ネットワーク接続 (LAN) の場合

❶ 重要 ネットワーク接続をするには、オプションの「RISO Network Card」が必要です。

1 [プリンタ追加ウィザード] を開始する

2 [ローカルプリンタ] を選択して [次へ] をクリックする

3 TCP/IP ポートまたは LPR ポートを作成する

4 付属 CD-ROM「RISO GOCCOPRO Printer Driver」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

5 [ディスク使用] をクリックし、インストールするドライバの inf ファイルを選択する

Windows Vista (32-bit) の場合 :

(CD-ROM) : [Windows 32-bit] - [Driver]
- [WinVista_8] - [Japanese] -
RISODRV.INF

Windows Vista (64-bit) の場合 :

(CD-ROM) : [Windows 64-bit] - [Driver]
- [WinVista_8] - [Japanese] -
RISODRV.INF

6 [RISO GOCCOPRO Series] を選択し、[次へ] をクリックする

7 テストページを製版し、正しく製版されることを確認する

製版のしかたについては「プリンタドライバをインストールする」26 ページの手順 13 を参照してください。

8 パソコンを再起動する

プリンタドライバのアンインストール

❶ 重要 プリンタドライバをアンインストールするときは、システム設定を変更する権限のあるアカウント（Administrator など）で Windows にログインしてください。

Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合
アンインストーラを使用したアンインストールでは、ドライバパッケージの削除ができません。プリンタドライバの再インストール時など、ドライバパッケージの削除が必要な場合は手動アンインストールを行ってください。

アンインストーラを使用する場合

1 アンインストーラを起動する

Windows 10 の場合：

[スタート] - [RISO GOCCOPRO Series] - [Uninstaller] の順にクリックします。

Windows 8.1/Windows 8 の場合：

「アプリ」画面を開き、[RISO GOCCOPRO Series] グループの [Uninstaller] をクリックします。

Windows 7/Windows XP/Windows Vista の場合：

[スタート] - [すべてのプログラム] - [RISO] - [GOCCOPRO Series] - [Uninstaller] の順にクリックします。

2 ① プルダウンメニューで「日本語」を選択する

② [OK] をクリックする



3 [次へ] をクリックする

4 ① [RISO GOCCOPRO Series] が選択されていることを確認する

② [次へ] をクリックする



5 [アンインストールの確認] 画面が表示されたら、[アンインストール] をクリックする

6 [終了] をクリックする

プリンタドライバをアンインストールしたときは、必ずパソコンを再起動してください。[今すぐ再起動する] にチェックを入れておくと、[終了] をクリックした後にパソコンが再起動されます。

手動でアンインストールする場合

Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7

- 1 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックする
- 2 [RISO GOCCOPRO Series] を右クリックし、表示されたメニューから [デバイスの削除] を選択する
- 3 [RISO GOCCOPRO Series] をクリックし、画面上部の [プリントサーバープロパティ] をクリックする
- 4 [ドライバー] タブから [RISO GOCCOPRO Series] を選択し、[削除] ボタンをクリックする
- 5 [ドライバーとパッケージの削除] ダイアログが開くので、[ドライバーとパッケージを削除する] を選択して削除する

Windows XP

- 1 [スタート] - [設定] - [プリンタとFAX] の順にクリックする
- 2 [RISO GOCCOPRO Series] を右クリックし、表示されたメニューから [削除] を選択する
- 3 [プリンタとFAX] 画面で [ファイル] - [サーバーのプロパティ] の順にクリックする
- 4 [ドライバ] タブをクリックする
- 5 [RISO GOCCOPRO Series] を選択し、[削除] をクリックする

Windows Vista

- 1 [スタート] – [コントロールパネル] – [ハードウェアとサウンド] – [プリンタ] の順にクリックする
- 2 [RISO GOCCOPRO Series] を右クリックし、表示されたメニューから [削除] を選択する
- 3 [プリンタ] フォルダ内の余白部分で右クリックし、表示されるメニューから [管理者として実行] – [サーバーのプロパティ] の順にクリックする
- 4 [ドライバ] タブをクリックする
- 5 [RISO GOCCOPRO Series] を選択し、[削除] をクリックする
- 6 [ドライバとパッケージの削除] 画面が表示されたら、[ドライバとドライバパッケージを削除する] を選択する

消耗品とオプション

- 仕様、種類は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 詳細については、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

マスター

下記の推奨品を使用してください。

品名	特長
RISO デジタルスクリーンマスター 70P-32-12	布プリント用の水性インク・溶剤インク共用の 70 メッシュのマスターです。ゴールドインクなど粒子の大きい顔料のインクを使用する用途に適しています。
RISO デジタルスクリーンマスター 120P-32-12	布プリント用の水性インク・溶剤インク共用の 120 メッシュのマスターです。ベタと細かい文字・線の再現性に優れたバランスの良いマスターです。高画質な布プリントが可能です。
RISO デジタルスクリーンマスター 200P-32-12	プラスチック、金属、金属塗装面プリント用の溶剤インク・布プリント用の水性インク共用の 200 メッシュのマスターです。細かい文字、線、網点の再現性に優れています。

オプション

本機をより便利にお使いいただくためのオプションを用意しています。

リソー GOCCOPRO プリンタドライバ Mac 用

本機と Macintosh を接続するためのプリンタドライバです。

RISO Network Card

本機をネットワーク接続（LAN）で使用するときは、Macintosh と接続する場合に使用します。

参考 RISO Network Card の購入や取り付けに関しては、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

製版済みマスターと芯の廃棄

製版済みのマスターとマスター芯は各自治体の規制に従って廃棄してください。
分別の必要がある場合は次の表を参考にしてください。

部品名	材質
芯	紙
マスター	ポリエステル

仕様

GOCCOPRO 100

製版方式	高速デジタル製版
製版時間	約 105 秒 (製版長さ 420mm、フレーム 1 (590mm) 選択時)
製版サイズ	最小：10mm (幅) × 10mm (長さ) 最大：297mm (幅) × 800mm (長さ)
解像度	600dpi × 600dpi (穿孔密度 1200dpi)
操作	LED パネル / フロントオペレーション
余白	フレーム 1 ～ 5 選択時： TOP 側 60mm 以上、END 側 60mm 以上 MINIMUM (最小余白) 選択時： TOP 側 60mm (固定)、END 側 15mm ～ 30mm MANUAL (任意余白) 選択時： TOP 側 60mm ～ 200mm、END 側 15mm ～ 200mm
マスター長さ	最小：85mm (製版サイズ 10mm、フレーム設定：MINIMUM (最小余白) (TOP 側 60mm、END 側 15mm) 選択時) 最大：1200mm (製版サイズ 800mm、フレーム設定：フレーム 1 ～ 5 (TOP 側 200mm、END 側 200mm) 選択時)
ユーザーモード	フレーム設定 (フレーム 1 ～ 5、MINIMUM) オートシャットオフ、ブザー音、ミリ / インチ切り替え、 マスター製版カウンタ、マスター走行カウンタ、画像伸縮補正、 ネットワークカード初期化、ユーザーモード設定値初期化
本体メモリ	128MB
対応 OS	Microsoft® Windows® 10 (32-bit/64-bit)、 Microsoft® Windows® 8.1 (32-bit/64-bit)、 Windows® 8 (32-bit/64-bit)、 Windows® 7 (32-bit/64-bit)、Windows® XP (32-bit)、 Windows Vista® (32-bit/64-bit)
マスター搬送方式	全自動
電源	定格電圧：100V、定格周波数：50-60Hz、定格電流：3.0A
消費電力	約 200W

本体サイズ	使用時：605(W)mm×650(D)mm×385(H)mm 収納時：500(W)mm×650(D)mm×385(H)mm
専有寸法	製版ユニットカバー、マスタートレイ、マスターストッパー オープン時：605(W)mm×680(D)mm×735(H)mm
質量 (*1)	約 35kg
安全性	屋内専用 汚染度 2 (*2) 標高 2000m 以下
付属品	取扱説明書 ドライバ使用許諾書 保証書 1 部 個人情報取り扱いシート
オプション	リソー GOCCOPRO プリンタドライバ Mac 用、 RISO Network Card

*1 マスターは含みません。

*2 空気中のちりやホコリなどによる使用環境の汚染度合いのこと。「2」は一般的な室内環境。

● おことわり

- ・ 機械の改良、変更などにより、本書の図版や記載事項とお客様の機械が一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 製品の仕様や種類は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

索引

C		お	
<COOLING DOWN> ランプ	44, 45, 65, 66	オーバーヒート	44
E		お手入れ	61
END 側余白量	14, 43, 52	オプション	88
F		オフライン	19
<FRAME SELECT> キー	14, 19, 42, 52	オンライン	19
I		か	
IP アドレスの設定	54	階調スムージング	40
O		各部の名称と機能	16
OFF	41	画像処理	39
R		画像伸縮補正	49, 57
RISO Network Card		画像調整	40
	2, 12, 16, 33, 49, 56, 65, 88	き	
T		逆光補正	40
TOP 側余白量	14, 43, 52	強制ベタ	40
あ		強調	41
明るさ	40	く	
網点角度	39	クールダウン	44, 45, 65, 66
網点処理	40	クリーナー	60
網点線数	39	け	
アンインストール	85	原稿サイズ	38
安全上のご注意	8	原稿サイズの登録	74
い		原稿データを送信する	37
インストール手順	24	こ	
え		誤差拡散	40
エッジ強調	40	コントラスト調整	40
エラー表示ランプ	64	さ	
		サーマルヘッドのクリーニング	61
		再製版機能	2
		し	
		シェイプアップ	41
		手動インストール	75
		使用環境	11
		消耗品	88

す		ゆ	
スクリーンマスター	1, 2, 88	ユーザーモード	48, 51
		ユーザーモードの設定方法	51
せ		よ	
製版エリア	13	余白量	14
製版から印刷までのながれ	20		
製版サイズ	13		
製版条件	37		
製版に必要な余白量	14		
設置場所	11		
専有面積	11		
そ			
操作パネル	18		
ね			
ネットワークカード初期化	49, 56		
ネットワーク接続 (LAN)	33, 76, 78, 80, 82, 84		
ひ			
標準に戻す	41		
ふ			
プリンタドライバ	12		
プリンタドライバの設定内容	38		
フレームの登録方法	52		
フレームを選択する	42		
ほ			
本機の準備	36		
ま			
マスター	88		
マスタートレイ	16		
マスターの交換	22		
マスターをセットする	22		
も			
文字処理	40		
文字ボリューム調整	41		

MEMO

アフターサービスについて

■ 無償修理

この製品には保証書を別途添付しています。保証書の記載内容をご確認いただいた上、大切に保管してください。保証期間中の修理の場合は必ず保証書をご提示ください。

保証期間は商品購入日より 1 年以内または、マスター走行カウンタもしくはマスター製版カウンタ表示が 400 版までのいずれか早期に達した方とし、その期間中において、本書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書に記載されている保証規定に則り無償修理いたします。

■ 有償修理

保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。
また、次の場合は保証期間内であっても有償修理となりますのでご了承ください。

- 保証書のご提示がない場合
- 保証書の所定事項の無記入、または記載内容が書き換えられている場合
- 使用上の誤り、不当な修理、改造等による故障や損傷
- 当社認定のテクニカルリソグラフィマン以外の者による修理が行われた場合
- 当社推奨消耗品をお使いいただけないことに起因する故障
- ご購入後の輸送、移動等による故障や損傷
- 火災、地震、その他天災地変による故障や損傷
- 上記以外で当社の責任でない原因で生じた故障や損傷

■ 推奨消耗品

RISO デジタルスクリーンマスター 70P-32-12
RISO デジタルスクリーンマスター 120P-32-12
RISO デジタルスクリーンマスター 200P-32-12

■ 修理不能の場合

天災または強度の衝撃その他で破損がひどく、正常の性能に復元できない場合および部品の入手が困難な場合など、修理ができない場合があります。その際は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

■ 補修用性能部品の保有期間とマスターの提供期間

本製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、本製品の製造終了後、最低 7 年間保有しています。マスターは、本製品の製造終了後、最低 7 年間提供しています。

■ 修理ご依頼に際しての注意事項

- 本機では、当社の定める研修を受講し、テクニカルリソグラフィマンと認定された者がメンテナンスを行うシステムを採用しております。修理を依頼される際には必ずテクニカルリソグラフィマン認定証の提示を求め、該当するテクニカルリソグラフィマンであることをご確認ください。また、保証規定による修理には、必ず保証書を添付してください。
- 万一故障と思われる事態が生じた場合は、まず本書に記載されている処置（操作手順、トラブル処理、警告表示の処理、ご注意）をご確認ください。完全に処置できない場合は、販売会社にご連絡ください。ご連絡の際には、故障箇所、内容などをできるだけ詳しくご説明ください。
- 修理完了後は修理伝票にご捺印ください。

■ 使用済み製品について

本製品には、ご使用後に回収し部品の再資源化を行うシステムがあります。また、このシステムで活用できない部分も環境への負荷が少ない方法で適切に処理します。

アフターサービスについてのご不明な点、またはサービスサポートメニューや製品についての詳細は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。また、お問い合わせはお客様相談室（[▶参照](#) 次ページ）でも受け付けております。



お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては
お客様相談室 ☎[®]0120-534-881

印刷・スクリーン資材などに関しては
お客様相談室 ☎[®]0120-343-338

受付時間（月～金 10:00～12:00, 13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く）

当社製プリンタドライバ/ソフトウェアの操作に関しては

サポートセンター ☎[®]0120-229-330

受付時間（月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く）



〒108-8385 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル